A glass sphere sits on a sandy surface, casting a shadow to its left. In the background, a sandcastle is partially visible, with its circular base and a smaller structure on top. The scene is lit from the upper left, creating soft shadows and highlights on the sand.

2015

ディスクロージャー誌2015
DISCLOSURE

2015 AWA BANK

ごあいさつ

みなさまには平素より私ども阿波銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。本年もここに『阿波銀行ディスクロージャー誌2015』をお届けいたします。本誌は、当行グループの現況をご理解いただくため、経営方針、最近の業績、各種取組みならびにグループ会社の状況などを取りまとめております。ご高覧のうえ、当行をさらにご理解いただければ幸いに存じます。みなさまにおかれましては、より一層のご支援、お引き立てを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成27年7月
株式会社 阿波銀行

お客さまとずっとつながる銀行へ
未来へずっとつながる銀行へ

当行の概要

(平成27年3月31日現在)

商号	株式会社阿波銀行(The Awa Bank,Ltd.)
本店所在地	徳島市西船場町二丁目24番地の1
創業	明治29(1896)年6月21日
設立	明治29(1896)年6月19日
資本金	234億円
店舗数	99店舗(徳島県内80店舗、県外19店舗)
店舗外CD・ATM数	114カ所
従業員数	1,332人
預金残高	2兆6,472億円(譲渡性預金を含む)
貸出金残高	1兆6,574億円
自己資本比率(国内基準)	(連結)12.84%(単体)12.21%
格付け	AA-(JCR)、A+(R&I)



大鳴門橋

徳島県鳴門市と兵庫県南あわじ市間の鳴門海峡を結ぶ全長1,629mの吊り橋で、本年6月、開通30周年を迎えました。

CONTENTS

内田裕子氏×岡田頭取 対談	03
決算ハイライト	09
地域のみなさまとともに	13
● 地域経済の発展に向けて	
● Topics	
企業の経営支援と地域活性化	15
● お客さまの経営支援に関する取組方針	
● お客さまの経営支援に関する態勢整備の状況	
● お客さまの経営支援に関する取組状況	
● 地域の活性化に関する取組状況	
あわぎんがお手伝いするライフステージ	21
GRC態勢強化に向けて	25
● コーポレート・ガバナンスについて	
● 内部統制システムの整備の状況について	
● リスク管理態勢について	
● コンプライアンス態勢について	
● マネー・ローンダリング/テロ資金供与防止・振り込め詐欺被害者への対応について	
● キャッシュカード・インターネットバンキングセキュリティ対策について	
CSRへの取組み	31
● 「お客さまの声」をお聞かせください	
● 金融ADR制度への対応について	
● 人材育成について	
当行の概況	35
● 当行の歩み	
● 組織図	
● 役員一覧	
商品・サービスのご案内	39
● 主要な業務の内容	
● 主要な商品・サービス	
● 手数料一覧	
資料編	46
● 連結情報	
● 単体情報	
● 店舗等一覧	
● 店舗配置図	

内田裕子氏 × 岡田頭取 対談 ふるさと徳島を発信！ ～地域活性化のためにできること～



地方創生、人口減少に伴う後継者問題や技術継承など、さまざまな課題をかかえる時代に、地元徳島に根ざした地方銀行としていかに貢献していくべきか。経済ジャーナリストの内田裕子氏をお招きして、岡田頭取と対談していただきました。

頭 取 本日は内田さんに、大塚国際美術館にお越しいただきました。この美術館は、西洋の名画を原寸大のまま陶板で再現した世界に類を見ない「陶板名画美術館」なんです。日本最大級の常設展示スペースに、1,000点余りの陶板名画が一堂に展示されているんですよ。

内田氏 初めて拝見しましたが、まさに『オールスターキャスト、オールスターアート』ですね。作品に近づけるので、テイストを鮮明に観ることができますし、しかも触れていいということで、オリジナルを展示している美術館とはまた違った絵との関わり方ができますね。

頭 取 通常、原寸大のレプリカは偽物として売買される危険があるので、なかなか制作に許可が下りないそうなんです。長い年月をかけて一枚一枚に許可を取り、これだけの美術館に仕上げられています。イタリアにいたっては、国が陶板の作成を認めてくれているそうです。

内田氏 そうなんです。学芸員さんも、絵にまつわるドラマや作家の当時の様子、絵に隠されている色々な秘密などを分かりやすく説明してくださるので、絵の価値もさらに高まります。それにこのスクロヴェーニ礼拝堂も素敵ですね。実際、現地の礼拝堂の見学では時間制限がありますが、ここなら半日いてもいいんですね。

頭 取 『最後の晚餐』は、修復前と修復後を比較しながら鑑賞できますから、まさに大塚国際美術館だけの贅沢です。オリジナルの作品だと、環境汚染や天災などの影響で退色劣化を免れませんが、この陶板画は約2000年以上そのままの色合いを残せるそうです。

内田氏 価値ある文化財を美しい姿のまま後世に伝えるという意味でも、大変貴重な美術館ですね。それにしても、陶板技術の高さや再現力がこんなに素晴らしいとは。来るたびに発見がありそうで、本当に何回も来たくりますね。

頭 取 このような美術館が、東京や大阪などの大都市ではなく、ここ徳島にあるということを誇りに思います。ぜひリピーターの仲間入りをしてください。

大塚国際美術館

大塚グループが創立75周年記念事業として設立。世界の美術館が所蔵する西洋名画約1,000点を、オリジナルに忠実な色彩と大きさとで陶板画として再現。

観光、産業、農産物、 発信すべき徳島の魅力

頭 取 この美術館のほかにも、徳島の観光といえば、やはり夏の風物詩である「阿波踊り」が有名です。徳島は「天水の聖地」と呼ばれているんですが、天水とは「天から降る水と踊りさえあれば、あとはもう何もいらぬというほど踊りが好きな人」を指す言葉です。地域貢献の一環として、当行からも100名以上の役職員が参加する「あわぎん連」が、毎年、足並みの揃った踊りを披露しています。

内田氏 職員のみなさんも踊られているんですか。それは、ぜひ一度拝見したいです。

頭 取 少し足をのばして、県西部の祖谷地方にお客さまをご案内することもあります。祖谷地方は、日本のチベットとも言われるほどで、秘境のような渓谷は桃源郷のようだとも喩えられています。東洋文化研究家のアレックス・カー氏は、日本の里山の美しさや伝統を、今の時代に合ったかたちで残していく取組みをされています。彼がプロデュースした古民家の宿泊施設も人気なんです。その影響もあってか、毎年、外国人観光客や県外から移住する若者も増えてきているんです。

内田氏 地域のために、いろんな人々がさまざまな形で取り組まれているんですね。





受け継がれる、藍商人のDNA

頭取 地方創生については、私ども地域金融機関が担う役割も大きいと考えています。徳島には観光だけでなく、ジャパンプルーといわれる阿波藍や阿波和紙の生産といった伝統産業のほか、質の高い農産物もたくさんあります。こういった素晴らしい地域の資源を、当行の情報ネットワークを活用しながら、どんどん全国へ発信していきたいですね。

内田氏 徳島と言えば、「すだち」の生産量が全国一位だったり、美味しい「なると金時」があったりと農産物があるのですが、染料である「すくも」の日本有数の生産地だそうで、藍染めにも深い歴史がありますよね。

三好市祖谷地域



豊かな自然と歴史的文化遺産に富んだ秘境。平家落人伝説の残る「かずら橋」や吉野川の峡谷「大歩危峡」はとくに人気の観光スポット。

頭取 はい。藍染めの起源は、平安時代ともいわれています。戦国時代には藍色の一種の「勝色^{かちいろ}」が勝利につながるという縁起の良さから、武士のあいだで需要が高まりました。そして、江戸時代以降、徳島藩の奨励もあり藍の栽培が盛んになり、1700年代には全国市場を支配するまでに成長しました。明治22年に市制を敷いた徳島市の人口は、当時全国で10番目の規模を誇る大都市だったということも、藍商人たちの隆盛を物語っています。当行も藍商人たちが出資して創業した銀行ですから、私たちもそのDNAを受継いでいると常々思っています。

内田氏 その「藍商人のDNA」というのは具体的にどのようなものなのでしょう。

頭取 まず、当行の経営方針の一つである「信用の重視」です。藍商人の商習慣に「手拍限り^{てうち}」というのがありまして、どんなに巨額の取引でも、藍商人はポンと一発手を打っただけで契約を違えなかった。それだけ藍商人は信用重視の商売を貫いてきたわけです。

内田氏 手を打っただけで決めるなんて、とてもリスクのある取引とも聞こえますが、手を打ったらその契約は絶対に守るということなんですね。

頭取 そうです。私ども金融機関は「約束を守る」というのが一番ですし、できない約束はしない。約束を絶対に違えないという藍商人の気質が、私たちの中で生き続けていると思います。

内田氏 私は以前出演していたTV番組のコーナーで、100年以上続く老舗企業の経営者の方々にインタビューをしていたのですが、そのとき、どの経営者の方にも、会社が永く続いてきた秘訣についてお伺いしていました。すると、必ずと言っていいほど「革新を続けてきたから」という答えが返ってきました。時代に合った革新を続け、お客さまが望む価値を提供してきた結果、振り返ったときにそれが伝統になっていたと。阿波銀行も来年120周年を迎えられますが、企業として永く存続してきた秘訣はどこにあるとお考えですか。

頭取 先ほどの経営者の皆さんと共通するところがあるかと思います。当行は行是に「堅実経営」を掲げています。「堅実経営」というと堅く聞こえるかもしれませんが、守るべきものはしっかり守り、変えるべきものは変えていくという経営姿勢を守ってきたという自負が

あります。これも永きにわたり受継いできた藍商人の経営哲学と言えるでしょう。

合併再編を繰り返してきた金融業界の歴史のなかであって、当行はわずか2回の合併しか経験がなく、「純血種の銀行」とも言われています。先人たちが培ってきた歴史と伝統、そしてこの藍商人のDNAを、私たちもしっかり守っていかなければと思っています。

変わる時代に、変わらないもの

内田氏 なるほど。その一方で、わが国においては、人口減少・少子高齢化が進み社会構造が大きく変わろうとしているなか、加速度的な経済のグローバル化が進んでいます。目まぐるしく変化する経営環境において、時代に合ったお客さまへの貢献というのが今後の課題になってくると思うのですが。

頭取 やはり、ITやICTを無視しては、これからの時代を生き残れないと考えています。現在の若い世代の方は、何らかのソーシャル・ネットワーキング・サービスを使っている人がほとんどです。さらに、年配の方もパソコンを使える時代になっている。ということは、お客さまのニーズもIT、ICT抜きには考えられないのではないかと思います。

内田氏 生まれたときに既に家にパソコンがあった世代を「デジタルネイティブ」と言うそうです。私もデジタルを使いこなしているという自負はあるのですが、彼らの世代は、私たちと全く違う感覚でデジタル機器と付き合い、デジタル世界の中で巧みに自己表現をしています。あと10年、20年後、デジタルネイティブ世代が働き盛りを迎えたとき、現在とは社会の様相も全く変わっているでしょうね。



頭取 社会のあり方や人々のライフスタイルは、時代の変化とともに様変わりするでしょう。一方で、金融のプロとしてお客さまの成長をお手伝いし、お客さまや地域経済の発展に貢献するという私ども地域金融機関の使命は変わらないと考えています。

当行には「永代取引」という伝統的な営業方針があります。これは、目先の短期的な利益を求めるのではなく、世代を超えた息の永い取引を継続し永続的な発展に寄与していくという考え方です。時代や環境が変化しても「永代取引」の基本は、お客さまと向き合い、お客さまを深く理解すること。いつの時代も、お客さまの良き理解者として寄り添い、ともに成長できる存在でありたいと考えています。



阿波おどり会館にて

あわぎん連

阿波銀行役職員で構成された阿波踊りグループ。徳島の夏の風物詩「阿波踊り」には、昭和26年から毎年参加している。



次の時代への挑戦

内田氏 お取引先企業と阿波銀行が100年、200年と共存していかれるというのは、とても理想的なかたちですが、後継者問題等でお悩みの中小企業が増えていますね。

頭取 徳島県においても人口減少、少子高齢化は加速度的に進展していますので、次の世代につなげていく取組みは重要だと認識しています。当行のコアビジネスモデルは中小企業のお客さまとのお取引ですが、どの企業の経営者さまも後継者については切実な悩みを抱えていらっしゃる。ですから、事業承継をどのようなかたちで行うのか柔軟な対応が必要で、例えば、経営者という「人」に限らず「技術」をつなぐというかたちもあるでしょう。

内田氏 日本には、宝のような技術がたくさんありますので、これがそのまま埋もれてしまったら、本当にもったいないです。

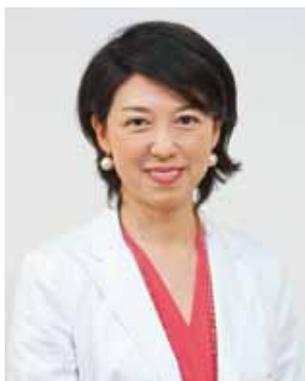
頭取 徳島県は、独自の技術を持った企業が多く、昔からベンチャーが芽生えやすい風土だとも言われています。私たちもさまざまな企業とお取引をしているなかで、小さな会社でも世界一だとか、世界で唯一の製品をつくっているような究極のものづくりに出会えたときは、銀行員として大きな喜びを感じます。また、ものづくりの現場のニーズに合致する金融サービスやサポートは、地域に関係なく通用すると考えています。現在、当行は、関西に9店舗、関東に5店舗を構えており、さらに今年7月には横浜法人営業部を支店に昇格させました。「徳島の地方銀行なのに、なぜ県外の中小企業とお取引できるのか」とよく質問を



受けますが、当行は地域に関係なく「永代取引」というビジネスモデルを実践しているにほかなりません。お客さまがいちばん望んでいらっしゃるのには、ニーズに対して適切なサービスやサポートを提供できるかどうかです。そして、このような営業展開により、当行が強くて良い銀行になることが、地元への貢献につながると考えています。

内田氏 阿波銀行も、かつて徳島から藍商人が全国に拠点を置いて市場を席卷したように、徳島だけでなく都市部でも「永代取引」を展開されようとしている。そうすると、これからは地方銀行の役割も変わっていきそうですね。

頭取 私たちは、県内外のネットワークを強くし、地域やお客さまをつないでいくことが、地元徳島のためになると信じています。関西にいても関東にいても、どこにあっても「地元徳島のために」という気持ちで、これからも新しい舞台を広げていきたいですね。



経済ジャーナリスト
内田 裕子

経済対策シンクタンク
ハーベイロード・ジャパン副代表

大学を卒業後、大和証券に入社。トレーダーを経験後、2000年に財部誠一事務所へ移籍し、経済ジャーナリストとして活動を始める。『サンデープロジェクト』（テレビ朝日系）で取材活動後、『財部ビジネス研究所』（BS日テレ）に出演するなど、メディアでも幅広く活躍。著書は『負けない投資』など。

撮影協力



大塚国際美術館
鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池65-1
TEL 088-687-3737



阿波おどり会館
徳島市新町橋2丁目20
TEL 088-611-1611

(平成25年4月～平成28年3月)

Awagin Innovate 120th

平成28年6月 創業120周年

《ありがたい姿》お客さまのために感動満足を創造し、強さと高い品質のオーラを放つ、独立独歩を堂々と歩む銀行

お客さま感動満足の向上

- 高い付加価値提供による成長
- 生涯を通じた安心・安全・信頼
- 法令遵守・顧客保護の実践

株主価値の向上

- ROA・ROEの向上
- 株主還元の向上
- 積極的ディスクロージャー・IR活動

職員満足の向上

- 仕事を通じた自己実現
- ワークライフマネジメントの実践
- 安定的な雇用・処遇の向上

地域社会への貢献

- 金融機能維持等の社会的責務
- 本業を通じた地域活性化
- 社会貢献活動・環境保護の実践

永代取引の追求

中小企業・世帯複合取引の強化

- 成長分野への融資増強・ABLの積極的活用推進
- 預かり資産営業の強化推進
- チャンネル・マーケティングの強化

地域密着型金融の推進

- 金融円滑化・再生支援への取組み強化
- 地域経済活力創造への貢献
- ネットワーク力の発揮による付加価値の創造

店舗・営業・融資・事務・本部改革の実践

- 広域営業体制の構築・戦略的店舗配置の実践
- 現場力の向上・権限委譲の拡大
- 全員営業態勢の構築・非対面取引の強化

経営品質の向上

意識改革

- クレド『経営の礎』の徹底・実践
- CIS(顧客感動満足)向上運動の徹底実践
- ES(職員満足)向上活動の取組み強化

人材開発の強化

- コンサルティング人材開発の強化
- 国際業務・有価証券運用人材開発の強化
- FP人材、ライフプランコンサルティング人材開発の強化

GRC態勢の強化

ガバナンスの強化

- 行是・経営方針の実践
- 緊急事態管理態勢の高度化
- 内部監査品質の向上

リスク管理態勢の強化

- 市場運用力・態勢の強化
- 統合リスク管理態勢の強化
- オペレーショナル・リスク管理の高度化

コンプライアンス態勢の強化

- フロントコンプライアンスシステムの導入
- 顧客保護管理態勢の強化
- 反社会的勢力への対応強化

平成28年
3月期の目標

規模効率トップ10の銀行

規模効率目標

コア業務純益ROA	0.70%以上
当期純利益ROA	0.33%以上
一人当たりコア業務純益増加率	10%以上*
修正OHR改善	2%以上*

*平成25年3月期比

利益目標

コア業務純益	200億円以上
経常利益	150億円以上
当期純利益	95億円以上

用語解説

クレド 「信条」を表すラテン語で、理念や行動指針を一つにまとめたものの総称です。

信頼にお応えする銀行です

■業績の推移

コア業務純益、経常利益、当期純利益はそれぞれ過去最高益を更新しました。

- コア業務純益は、貸出金利回りが低下したものの、有価証券利息配当金が増収となったことや、投資信託の販売などにより役務取引等利益が増益となったことなどから、前年度比2億円増益の202億円となりました。
- 経常利益は、与信費用の減少や国債等債券関係損益の改善などにより、同32億円増益の204億円となりました。
- 当期純利益は、同15億円増益の120億円となりました。



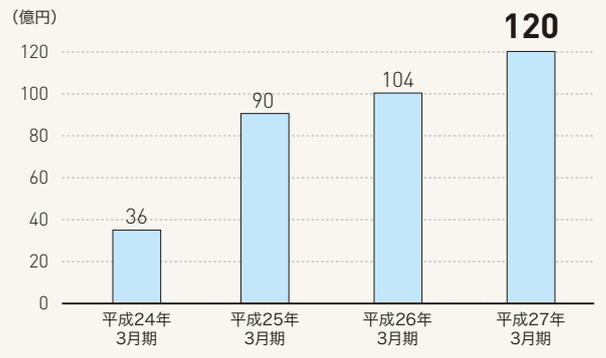
コア業務純益



経常利益



当期純利益



■あわぎん単体ベース

(単位:億円)

	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期
業 務 純 益	201	201	206	228
コ ア 業 務 純 益	194	188	200	202
経 常 利 益	89	147	172	204
当 期 純 利 益	36	90	104	120

(単位:%)

コア業務純益ROA	0.70	0.67	0.69	0.67
当期純利益ROE	2.19	4.85	5.13	5.35

用語解説

業務純益

預金や貸出金など、銀行本来の業務が生み出す利益のことです。銀行の収益の大きさを表す業務粗利益から人件費や物件費などの経費を除いたもので、銀行の収益力を知るための指標の一つです。

コア業務純益

「業務純益」から特殊な要因で変動する「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券関係損益」の影響を除いたものです。より実質的な銀行本来の業務の収益力を表しています。

ROA(リターン・オン・アセット:総資産利益率)

資産をどの程度効率的に活用して利益をあげているかを表す指標であり、数値が高いほど効率的に利益をあげていることを表しています。

●コア業務純益ROA=コア業務純益÷総資産期首・期末平均

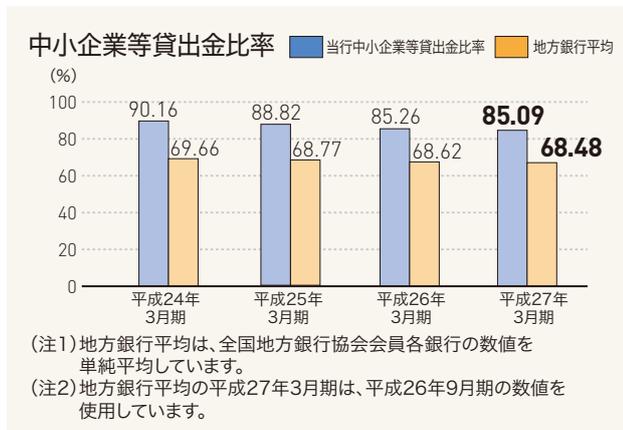
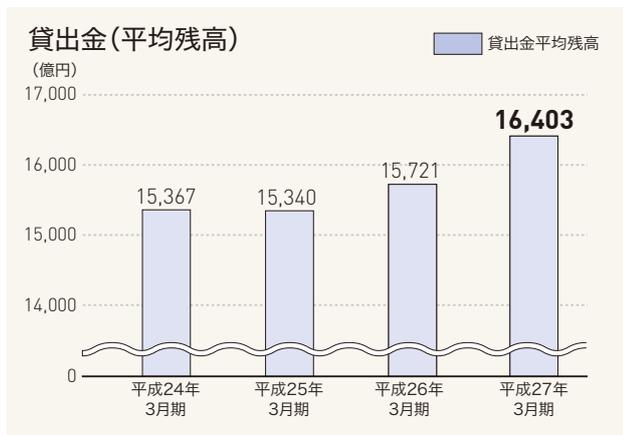
ROE(リターン・オン・エクイティー:自己資本利益率)

自己資本をどの程度効率的に活用して利益をあげているかを表す指標であり、数値が高いほど効率的に利益をあげていることを表しています。

●当期純利益ROE=当期純利益÷純資産期首・期末平均

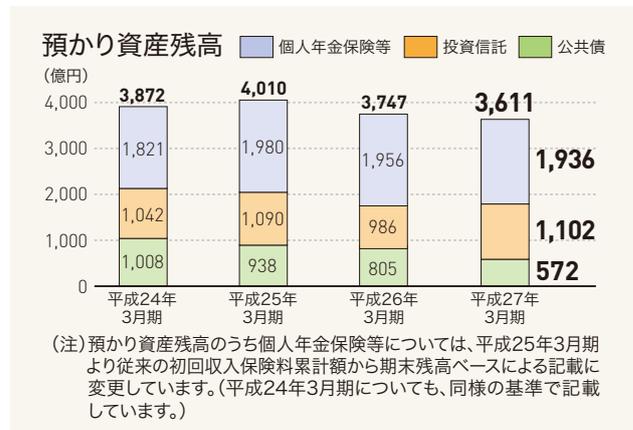
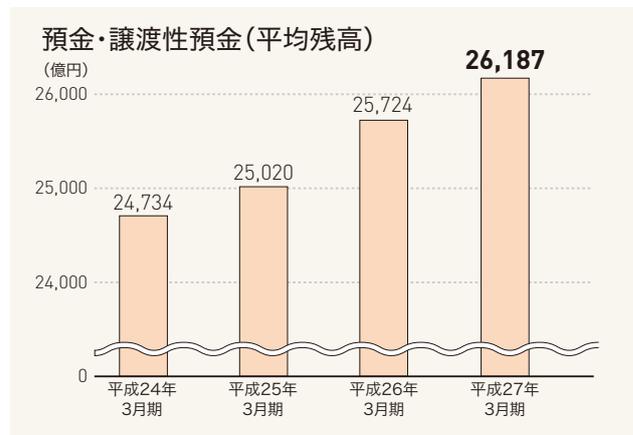
■貸出金

- 貸出金(平均残高)は、成長分野をはじめ幅広い分野での新規融資の増強に積極的に取組んだ結果、前年度比681億円増加し、1兆6,403億円となりました。
- 中小企業等貸出金比率は85.09%と、引続き高い水準を維持しています。



■預金等

- 譲渡性預金を含む総預金残高(平均残高)は、個人預金・法人預金・公金預金がそれぞれ順調に推移したことから、前年度比462億円増加し、2兆6,187億円となりました。
- 公共債、投資信託および個人年金保険等の期末残高を合計したお客さまからの預かり資産残高は、3,611億円となりました。



■有価証券

安全性・効率性を重視しつつ、運用の多様化と拡大に取り組んでいます。

- 有価証券の評価損益は、株価の上昇と円安の進行などにより、前年度比306億円増加し、1,039億円となりました。

■有価証券の評価損益

(単位:億円)

	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期
有価証券合計	419	740	733	1,039
株式	230	403	445	691
債券	167	232	206	210
その他	21	104	81	137

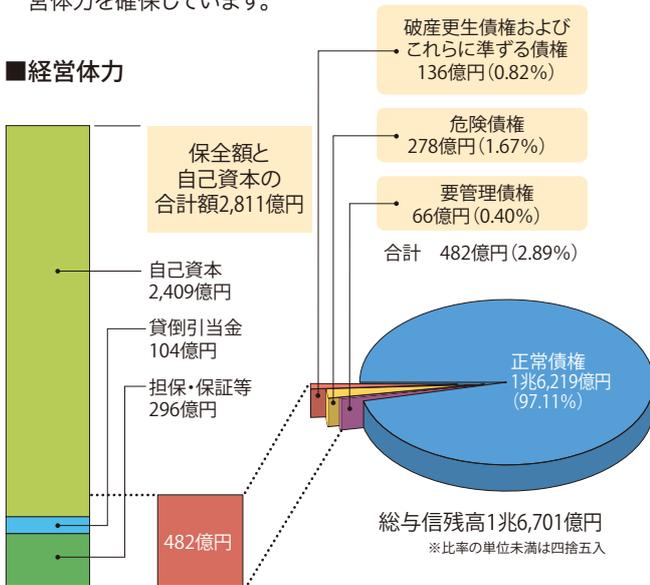


■金融再生法に基づく開示債権

十分な経営体力を確保しています。

- 金融再生法開示債権は、482億円となりました。この債権額の83.23%は担保・保証等や貸倒引当金により保全されており、将来のリスクに対して十分に対応できる体制となっております。
- さらに、この債権額を大きく上回る自己資本があり、十分な経営体力を確保しています。

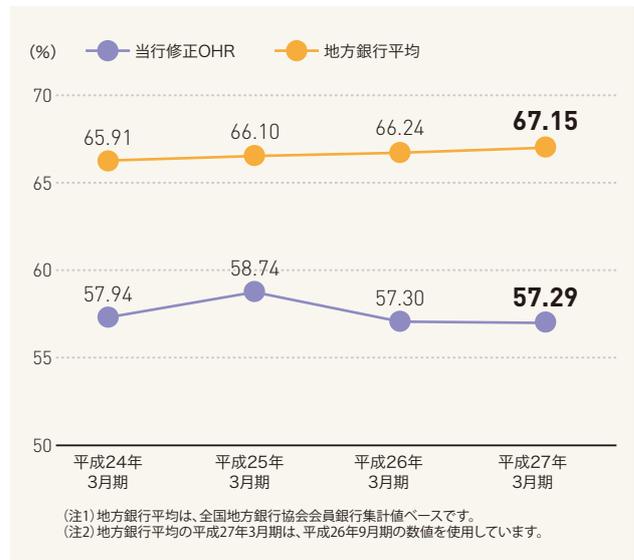
■経営体力



■経営効率

高い経営効率を維持しています。

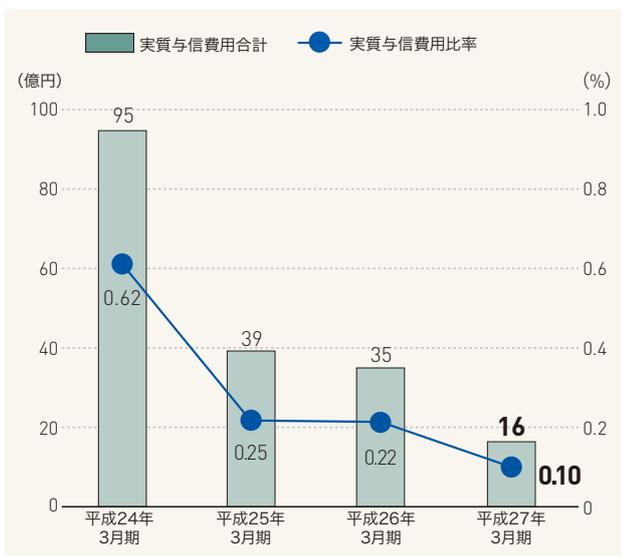
- 経費は、前年度比3億円増加の271億円となりました。
- 修正OHRは、前年度比0.01ポイント改善し、57.29%となり、引き続き高い効率性を維持しています。



■不良債権処理費用

不良債権処理費用は大幅に減少しました。

- 実質与信費用は、前年度比18億円減少の16億円となりました。また、実質与信費用比率は、同0.12ポイント改善し、0.10%となりました。

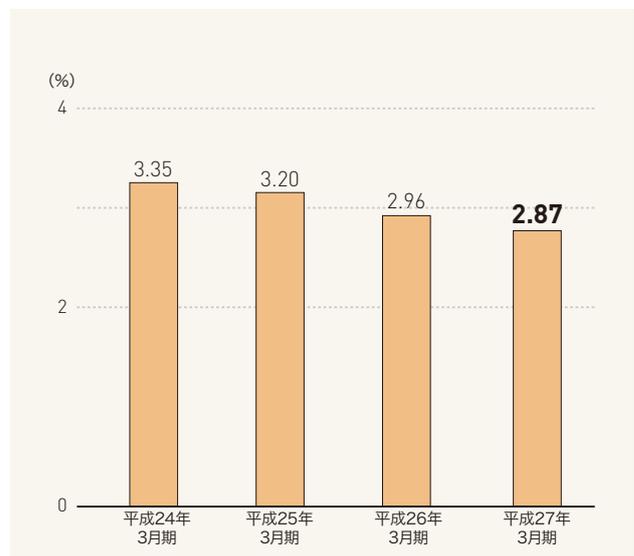


■リスク管理債権比率

資産の健全性が一層高まりました。

- リスク管理債権比率は、経営改善支援など中小企業金融の円滑化に継続して取組んだことなどから、前年度比0.09ポイント改善し、2.87%となりました。

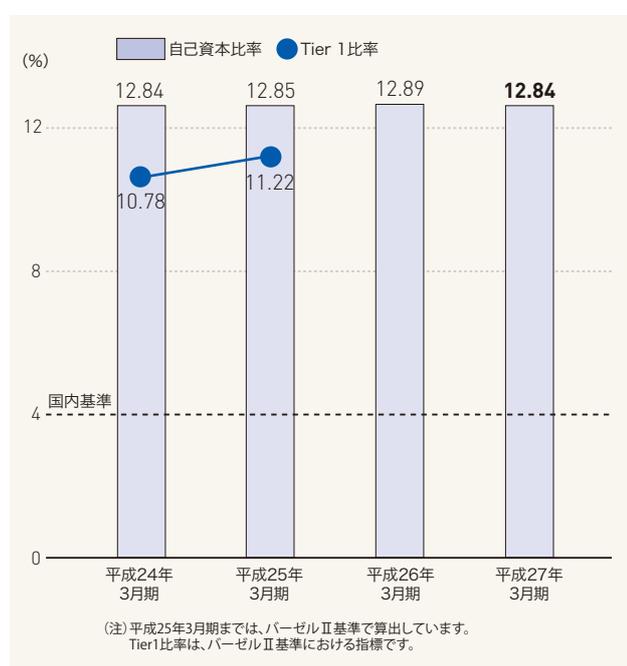
(注) 比率の単位未満は四捨五入



■自己資本比率(連結)

高い財務体質の健全性を維持しています。

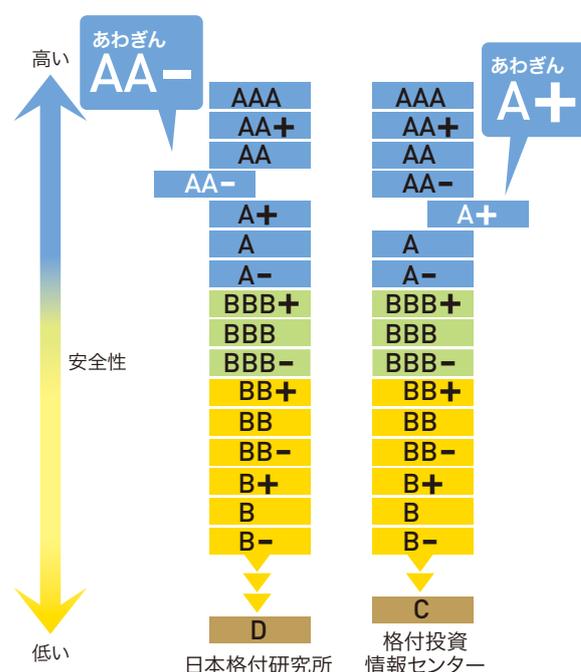
- 銀行の安全性・健全性を表す自己資本比率は、前年度末から自己資本の質の高さが従来以上に反映される「パーゼルⅢ」が施行されました。
- 連結自己資本比率は、内部留保の充実や保有資産の健全性を受け、12.84%となりました。



■格付け

経営の安全性は高く評価されています。

- 銀行の安全性・信用度を示す格付けは、日本格付研究所(JCR)から「AA-」、格付投資情報センター(R&I)から「A+」の長期格付けを取得しています。
- 長期格付け「AA-」は「債務履行の確実性は非常に高い」とされており、当行の経営の安全性は高く評価されています。



(平成27年5月31日現在)

用語解説

金融再生法開示債権

貸出金のほか外国為替や未収利息なども含め、金融機関の資産の状況をお知らせするものです。

OHR(オーバー・ヘッド・レシオ:業務粗利益経費率)

一定の利益をあげるために、どれだけかかっているかを表す指標であり、数値が低いほど経費がかかっていることを表しています。

●修正OHR=経費÷修正業務粗利益(業務粗利益-国債等債券関係損益)

実質与信費用(不良債権処理費用)

不良債権処理に係る費用で、不良債権処理額と一般貸倒引当金繰入額を合計し、償却債権取立益等を控除したものです。

実質与信費用比率

貸出金(平均残高)に対する実質与信費用の割合を表す指標であり、比率が低いほど資産の健全性が高いとされています。

リスク管理債権比率

貸出金の中に占める不良債権の割合を表す指標です。銀行法に基づき算出しています。

自己資本比率

信用リスク・アセットなどに対する自己資本の割合を示す指標です。

パーゼルⅢ

金融機関の健全性をさらに向上させるため、従来よりも厳格となった自己資本比率規制の基準です。国内基準行には、平成26年3月末より適用されました。

Tier 1比率

資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目で算出した自己資本比率のことです。

格付け

利害関係の全くない第三者である格付け機関が、銀行の財務内容等を客観的に評価し、その評価を簡単な記号で表したものです。

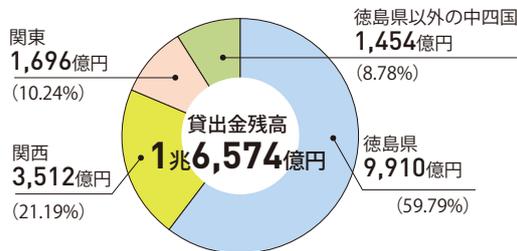
地域経済の発展に向けて

当行は、行是「堅実経営」のもと、「地域への貢献」を経営方針の一つに掲げており、地域のみなさまとともに歩み、ともに発展していくことをめざしています。今後とも、地域社会に貢献し必要とされ頼りになる銀行として、みなさまとともに成長を続けることができるよう全力を尽くしてまいります。

■貸出金の状況

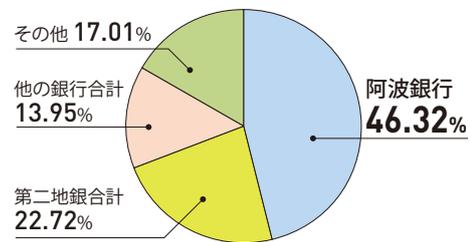
◎地域別内訳 (平成27年3月末残高)

徳島県をはじめ、地域の中小企業を中心にご融資を行っています。



◎徳島県内シェア (平成26年9月末残高)

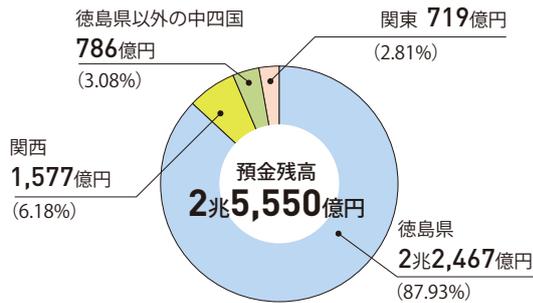
多くのお客さまからご支持をいただき、当行の貸出金シェアは徳島県内でトップです。これからも地域のみなさまの資金ニーズにきめ細かくお応えしていきます。



■預金の状況

◎地域別内訳 (平成27年3月末残高)

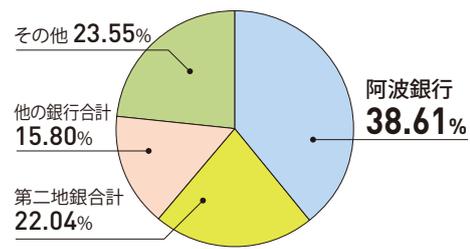
徳島県のお客さまからお預かりしている預金は、預金全体の87.93%を占めています。



※譲渡性預金を除く

◎徳島県内シェア (平成26年9月末現在)

当行の預金シェアは貸出金同様、徳島県内でトップです。これからも地域のみなさまから「信頼される銀行」をめざしていきます。



※ゆうちょ銀行・譲渡性預金を除く

■徳島県の主要経済指標

指標名	内容	年次
人口	762,834 人	平成27年1月1日
世帯数	308,161 世帯	平成27年1月1日
事業所数 (民営)	39,217 事業所	平成24年2月1日
従業者数 (民営)	306,064 人	平成24年2月1日
県内総生産 (名目)	28,389 億円	平成24年度
一人当たり県民所得	2,727 千円	平成24年度
製造品出荷額等	17,122 億円	平成25年

(注) 製造品出荷額等は従業者4人以上の事業所

資料: 総務省「経済センサス」、経済産業省「工業統計調査」、徳島県「推計人口」「県民経済計算年報」

■収入・貯蓄性向など

指標名	徳島県 (全国での順位)	全国	単位	年次
勤労者世帯の実収入	564 (14)	520	千円	平成26年
世帯主の勤め先収入	526 (12)	483	千円	平成26年
消費支出	352 (7)	319	千円	平成26年
平均消費性向	78.1 (13)	75.3	%	平成26年
銀行個人預金残高	9,801 (2)	7,744	千円	平成26年3月31日

(注) 1. 銀行個人預金残高は、国内銀行勘定で1世帯当たり (個人預金残高/住民基本台帳世帯数)
2. 銀行個人預金残高以外は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯で、1世帯当たり1ヵ月間

資料: 総務省「家計調査年報」「全国消費実態調査」「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」

トピックス Topics

◆地方創生に取り組んでいます

当行は、地域のリーディングバンクとして、地方創生に積極的に取り組んでいます。

地域金融機関に求められる役割

- 地方版総合戦略の策定への協力
→地方自治体が策定する地方版総合戦略の策定について、積極的に参画し、情報提供・分析・提案等の協力をを行います。
- 国の総合戦略や地方版総合戦略の推進に向けた協力
→産官学金労言の連携のもと、総合戦略等の推進に積極的に取り組みます。
- 地域における金融機能の高度化に向けた取り組み
→さまざまなライフステージにある企業の経営課題の解決に向けた自主的な取組みを官民一体で支援します。

当行の取組内容

地方創生窓口

- 営業推進部に地方創生専任者を配置し、県内各市町村と連携しています。
- 当行各支店の支店長は、地方創生を推進するため、エリア内の地方公共団体や企業等から情報収集を行うほか、円滑な資金の提供や相談等を実施しています。
- 本部およびグループ会社の専門性を生かした支援を行っています。

サポート内容

- 地方版総合戦略の策定
- 海外事業支援
- 創業・新規事業支援
- 事業承継・相続・M&A支援
- ビジネスマッチング
- 医療・介護・観光・農業支援等
- 経営改善・事業再生支援

産官学金労言との連携

地域産業・企業

グループ一体となり
地域経済の活性化を支援

阿波銀グループ

営業店

本部
(営業推進部等)

グループ会社
(阿波銀コンサルティング等)

(公財)徳島経済研究所

連携

地方公共
団体

大学

地域経済活性化
支援機構等

マスコミ

◆特殊詐欺の被害防止に取り組んでいます

- 振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺被害からお客様の大切な資産を守るため、ATM操作画面での注意喚起メッセージの表示や、窓口でのお声掛けを行っています。
 - 警察からの要請により、高齢のお客様が窓口で高額現金のお引き出しをされる場合、「お振込み」や「自己宛小切手(※)」の利用を推奨しています。
- ※自己宛小切手とは、銀行が自ら振出人兼支払人として発行する小切手のことです。特定の受取人名を小切手に記載する「記名式」とすることで、不正に小切手を取得した者に対して支払われる可能性は非常に低くなります。



◆女性の活躍を推進しています

女性活躍プロジェクト

「AWA donna」活動を展開

当行で働く女性職員の活躍の場を広げ、組織風土の改革を行うため、女性活躍プロジェクト「AWA donna」活動を展開しています。より一層女性が活躍できる環境づくりや、女性ならではの商品・サービス企画などを行っています。



アワドンナとは

活動的で働き者とされる徳島の女性「阿波女(あわおんな)」とイタリア語で女性を意味する「donna(ドンナ)」が名称の由来です。

「LIT(リット)」を始動

※LIT:Loan(融資)
Intensive(集中的な)
Training(トレーニング)の略称。

融資業務を集中的に学び、事業性融資業務に強い女性行員の育成を図る行内公募制度です。約1年間、本部や営業店(県内・県外)で研修および実習を受け、融資スキルの高い女性行員育成をめざします。

「くるみんマーク」を引続き取得

次世代育成支援対策推進法に基づき、子育て支援に積極的に取り組んでいる企業として、厚生労働大臣から2期連続で認定を受けました。当行は、今後も子育て支援や、仕事と家庭の両立支援を行っています。



お客さまの経営支援に関する取組方針

あわぎんグループおよびさまざまな業務提携先の機能を駆使して、お客さまの課題解決に向けた取組みをバックアップいたします。「永代取引」の実践により高い付加価値を提供し、地域やお客さまの発展に貢献します。

あわぎん地域密着型金融推進計画

当行の伝統的営業方針である「永代取引」を実践することが、地域密着型金融と同義と位置付け、その実践により高い付加価値を提供し、地域やお客さまの持続的な発展に貢献してまいります。

金融円滑化への対応強化

- 経営改善支援、改善計画策定支援の取組み強化
- 再生支援協議会・外部専門機関との連携強化
- 資本金借入金・AWA企業再生ファンドの活用推進
- 事業承継支援、M&Aの推進強化
- 企業格付ランクアップの推進強化

地域経済活力創造への貢献

- 創業・新規事業支援の強化
- 成長分野への取組み強化、6次産業化支援強化
- 各種団体等との連携、企業誘致活動の推進支援強化
- アジア、国際ビジネスの強化推進
- 阿波銀行学術・文化振興財団を通じた助成活動継続

お客さまの経営支援に関する態勢整備の状況

あわぎんネットワーク力を発揮し、高い付加価値を創造します。

お客さまの課題解決を実践



(外部専門機関等との連携状況)

お客さまの経営支援に関する取組状況

多様な企業支援ソリューションサービスを通じて、お客さまの経営課題解決をお手伝いします。

	相談内容	サービス内容
創業・新規事業 開拓の支援	創業・新規事業開拓支援、ベンチャー企業支援 ■資金を調達したい。 ■事業計画を立てたい。 ■大学の持つ技術を活用したい。 ■販路を拡大したい。	P17 ●創業・新規事業開拓向け融資商品を取扱っています。 ●ベンチャー企業向け融資商品の取扱いのほか、公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団による助成を行っています。 ●徳島大学研究支援・産学官連携センターと連携してサポートします。 ●各種支援制度とのマッチングや販売経路をアドバイスします。
	国際業務 ■海外企業と取引したい。 ■海外進出を考えている。 ■輸出入にかかる為替変動リスクを軽減したい。 ■海外進出に伴うリスクの軽減策を相談したい。	P17 ●貿易取引に関するご相談を承ります。 ●海外進出に関する情報提供を行っています。
成長段階における 支援	アグリビジネス ■6次産業化に取組みたい。(注) ■経営規模拡大に取組みたい。 ■農業分野に進出したい。 ■資金調達の相談をしたい。 ■新しい販路・仕入先を見つけたい。	P18 ●6次産業化や経営規模拡大などの取組みをお手伝いします。 ●進出希望分野の資料提供や農業関連専門機関をご紹介します。 ●制度融資など、ニーズに合った調達方法をご提案します。 ●農産物や加工品の販売・仕入をお手伝いします。
	医院開業、医療・介護経営支援 ■医院開業の相談をしたい。 ■介護事業を始めたい。 ■病院、介護施設の運営について相談したい。	P18 ●診療圏調査など医院開業や介護事業参入計画、病院施設の運営に関し幅広くお手伝いします。
経営改善・事業再生・業種 転換等の支援	ABL ■資金を調達したい。 ■不動産以外の資産を活用したい(売掛金・在庫など)。	P18 ●売掛債権・商品在庫などを担保とした融資を取扱っています。
	その他のソリューション ■株式公開をめざし準備したい。 ■資金調達の多様化を図りたい。 ■社債を発行してみたい。 ■退職金・年金制度を見直したい。 ■企業、従業員にとって最適な退職金・年金制度を検討したい。 ■貢献度に応じた退職金・年金制度を採用したい。 ■売掛金の回収を心配せずに販売したい。 ■対外的信用度を高めたい。 ■後継者への円滑な事業の承継を検討したい。 ■自社株式の評価の仕組みを知りたい。 ■後継者がいないので、安心して譲渡できる企業を探したい。 ■販路拡大・事業多角化したいので会社を買収したい。	P18 ●資本政策、経営管理体制などを長期的な視野に立ち支援します。 ●お客さまのニーズにあわせて、シンジケートローンを組成します。 ●社債の引受、受託を行います。 ●退職金の制度設計をお手伝いします。 ●確定拠出年金の導入に向けてお手伝いします。 ●研修等により従業員教育をお手伝いします。 ●お客さまの直面するさまざまなリスクを管理する方法をご紹介します。 ●対応策の検討をお手伝いします。 ●ご要望に応じ専門家をご紹介します。 ●会社等の売却・買収に対し、戦略立案から相手先発掘、成約まで総合的にお手伝いします。
	経営改善支援・事業再生支援 ■経営改善に取組みたい。	P19 ●経営改善計画の策定をお手伝いします。 ●阿波銀コンサルティング株式会社や外部機関等と連携し、多様な事業再生スキームを活用し、積極的な支援を行います。

(注)「6次産業化」とは、農林漁業者等が、生産・加工・流通(販売)を一体化し、所得を増大させる、または農林漁業者が2次・3次産業と連携して地域ビジネスの展開や新たな産業を創出させることです。

創業・新規事業開拓の支援

創業のための資金の取扱いのほか、創業にあたっての事業計画策定支援や計画達成のためのアドバイスを行っています。

創業・新規事業開拓支援、ベンチャー企業支援

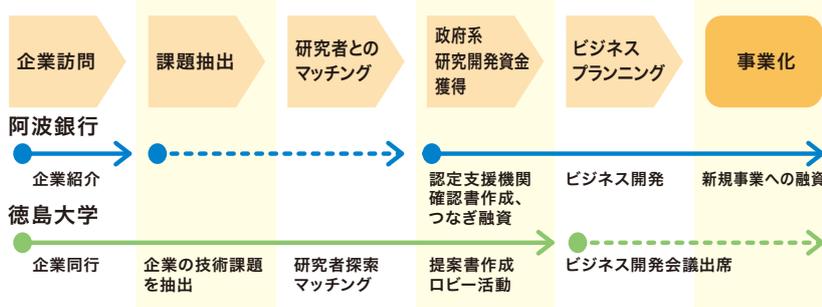
■創業・新事業開拓向け融資を強化しています。

起業や新たな事業展開を行う企業向けの融資商品を取扱うなど、積極的な創業支援を行っています。

創業支援融資額(平成26年度)	
先数	金額
73先	1,581百万円

■産学金の連携を強化し企業ニーズにお応えします。

平成25年に徳島大学と連携協定を締結し、それぞれの保有する研究技術、情報およびノウハウを活用して、地域の産学連携を推進しています。大学と当行双方の得意分野を活かし補完関係を構築することで、地元企業の成長に有効な支援スキームとなっています。平成27年3月末現在で6件の共同研究が始まっており、開始間近のプロジェクトも多数進行しています。



■公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団による助成を行っています。

優れた学術・文化の振興と発展に貢献することを目的に設立した公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団を通して、徳島大学と地元企業の共同研究等に積極的な助成を行っています。

平成26年度までの累計実績は、学術部門159件9,030万円、文化部門335件6,137万円、合計494件1億5,167万円となっています。



成長段階における支援

地域企業のさらなる成長に寄与していくため、成長分野の育成や成長段階における企業への積極的な支援を行っています。

国際業務

海外金融機関をはじめ海外コンサルタント会社、損害保険会社、リース会社等との提携を通じて、お客さまの海外進出に対するリスクマネジメントコンサルティングや、海外でのリースを含めた総合的な金融サービスのご提供を行っています。また、日本政策金融公庫との連携によるスタンドバイL/C(現地通貨建での資金調達)も取扱っています。

- インド**: インドステイト銀行 国際協力銀行を通じた業務提携先
- タイ**: カシコン銀行 国際協力銀行を通じた業務提携先
- タイ**: バンコック銀行 業務提携先
- フィリピン**: BDOユニバンク 国際協力銀行を通じた業務提携先
- ベトナム**: ベトコム銀行 国際協力銀行を通じた業務提携先
- インドネシア**: バンクネガラインドネシア 国際協力銀行を通じた業務提携先

阿波銀行営業推進部 営業支援課

- 貿易取引に関するご相談
- 海外進出に関する情報提供
- 「アジアデスク」で中国語等の翻訳・通訳のお手伝い

電話で為替情報が聞けるフリーダイヤル「かわせくくん」サービスのご提供

☎ 0120-167-925

アグリビジネス

当行では、営業推進部営業支援課に専門スタッフを配置し、農業分野への進出や経営規模拡大を支援しています。



事例

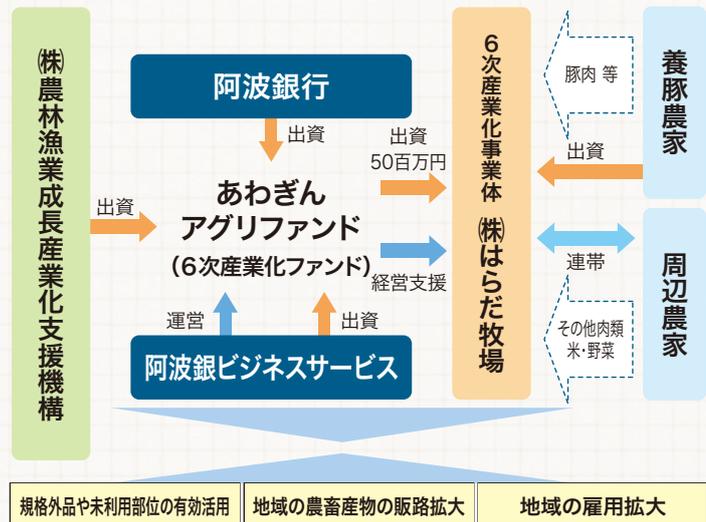
「あわぎんアグリファンド」を活用した6次産業化支援

当行、株式会社農林漁業成長産業化支援機構および阿波銀ビジネスサービス株式会社が出資し、平成25年11月に設立した『あわぎんアグリファンド』の第1号となる出資案件が決定しました。

当ファンドは、今後とも6次産業化事業体への出資・経営支援を通じ、農林漁業の成長産業化を図ることで、地域経済活性化や地域の雇用創出に向けて積極的に取組んでいきます。

【出資案件の概要】

出資先名	株式会社はらだ牧場
代表者名	原田 剛
所在地	徳島県美馬市脇町
出資決定額	50百万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社はらだ牧場は、徳島県内有数の養豚事業者である原田養豚場(代表 原田茂)らが設立し、自ら生産した豚肉を活用した外食店舗を県内外で運営する会社(6次産業化事業体)です。 ・徳島県のブランド豚「阿波ポーク」を安心・安全に、そして鮮度の高い良質のまま消費者に提供することで、「阿波ポーク」の販売拡大および事業の付加価値向上をめざします。 ・本件の資金を活用しながら、店舗数を拡大することにより、豚肉をはじめとした地域の農産物の生産拡大と雇用創出にもつなげていく予定です。



医院開業、医療・介護経営支援/ABL/その他のソリューション

医院開業、医療・介護経営支援

- 当行では、医療・介護事業の発展に寄与することを目的に、平成15年6月に「医療・介護事業チーム」を立ち上げました。専門スタッフを配置することにより、当行が持つ情報・ノウハウの集約を図り、医療・介護経営をサポートしています。資金調達はもちろんのこと、経営に関するさまざまなご相談にお応えいたします。

私募債、シンジケートローン、PFI

- 私募債**
設備投資等の資金調達に際し、財務内容を活かして安定した資金の調達が可能となります。また、財務内容の健全性を対外的にPRできるため、企業のイメージアップを図ることができます。
- シンジケートローン**
参加金融機関との条件交渉等の一本化を図りながら、大型で安定した資金調達を行うことができます。
- PFI**
公共施設等の建設、運営等を民間事業者が行う事業において、資金調達をはじめとしたサポートを行っています。

各種リスク対策

- 売掛金の回収リスクを回避するための商品の紹介を行っています。
- 経営者の万が一の場合の備えとして、経営者保険を取扱っています。

ABL

- ABL(Asset Based Lending)とは企業の事業そのものに着目し、商品在庫や売掛金など流動性の高い事業収益資産を担保として活用する融資の手法です。商品在庫や売掛債権等の残高を定期的に情報提供いただくことで、不動産を所有されていない場合でも、事業サイクルに合致した運転資金等の資金調達が可能となります。当行では、不動産担保や個人保証に過度に依存しない金融の円滑化を図る一環として、売掛債権担保専用ローン「バリューアップ」を取扱っています。

確定拠出年金、人材育成、人事制度

- 退職金制度を取り巻く環境が大きく変化するなか、退職金水準の調査や401kの制度設計等、営業店と本部が一体となって課題解決に向け対応しています。
- ビジネスカレッジの開催や経営塾勉強会等を通じて、後継者や人材の育成の支援に取り組んでいます。



事業承継、M&A

- 事業承継対策として、外部専門家を含めたサポート体制を敷き、財務面のみならず経営面での広い視野に立った対策を検討し、事業承継プラン作成等の支援に取り組んでいます。
- 成長企業と後継者問題等を抱える企業との橋渡し役として、会社・事業の買収・売却に対し、戦略立案から相手先発掘、成約まで総合的な支援に取り組んでいます。

経営改善・事業再生・業種転換等の支援

審査部経営支援課に専門スタッフを配置し、お客さまの経営改善、事業再生に向けて積極的に取り組んでいます。また、外部の専門機関とも連携し、多様な事業再生スキームを活用することで、抜本的な事業再生や経営改善に積極的に取り組んでいます。

経営改善支援・事業再生支援

平成26年度取組み実績

◇経営改善支援取組み率 5.6%
(経営改善支援取組み先数225/期初債務者数4,009)

◇再生計画策定率 89.8%
(再生計画策定先数202/経営改善支援取組み先数225)

◇ランクアップ率 3.1%
(ランクアップ先数7/経営改善支援取組み先数225)

※上記指標はいずれも正常先を除いています。

◇徳島県中小企業再生支援協議会との連携による件数 25件
うち、完了件数 18件

■外部専門機関等との連携を強化しています。

徳島県中小企業再生支援協議会との連携

当行は、専門スタッフの人材派遣を行うなど、徳島県中小企業再生支援協議会との連携により中小企業の経営改善・事業再生に向けた計画策定を支援しています。

地域経済活性化支援機構との連携

当行は、株式会社地域経済活性化支援機構との連携によって経営改善や事業再生につながる最適なソリューションの提供に努めています。平成25年度から機構への職員派遣を実施しているほか、平成26年度からは機構からの専門家派遣の受入れを開始しました。

「AWA企業再生ファンド」の活用

「AWA企業再生ファンド」を組成し、個々のお客さまの状況に応じて、過剰債務の処理や不採算事業のリストラ、M&Aなどによるサポートを行っています。

「とくしま中小企業支援ネットワーク会議」に参加

地域の面的再生を促進する観点から、徳島県信用保証協会が中心となって組成された「とくしま中小企業支援ネットワーク会議」の一員として、地域内の金融機関等とともに、面での経営改善支援インフラを醸成し、地域全体の経営改善スキル向上に努めています。

「経営革新等支援機関」認定機関としての支援サポート

当行は、国から認定された「経営革新等支援機関」として、他の認定機関との連携を図りながら、中小企業の経営改善計画の策定支援や各種補助金の案内等、経営のサポートを行っています。

■「阿波銀コンサルティング株式会社」を設立しました。

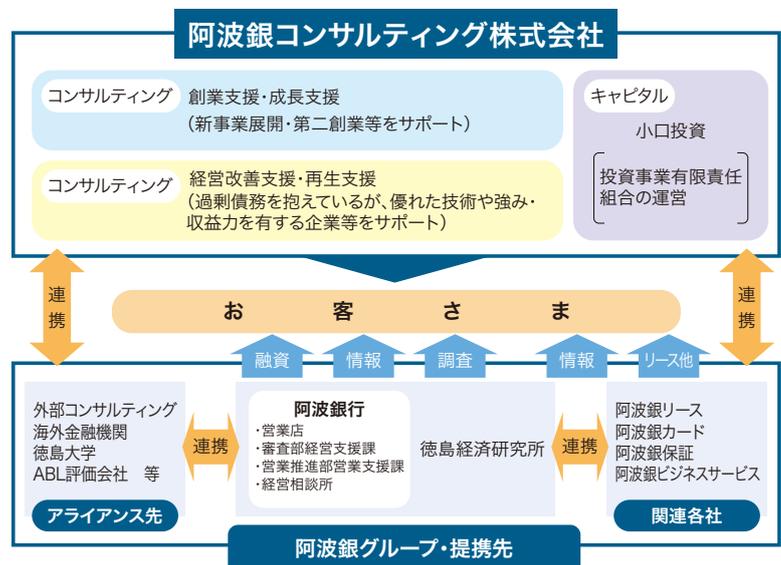
平成26年7月、当行グループ会社として「阿波銀コンサルティング株式会社」を設立しました。

同社では、専門スタッフが、創業から経営改善・事業再生まで、企業のさまざまなステージにおけるコンサルティングを行っています。

さらに、キャピタル業務として中小企業のお客さま向けに小口投資を行うなど、幅広いサポートを通じてお客さまや地域経済の持続的な発展に貢献していきます。

【阿波銀コンサルティング株式会社の概要】

本社所在地	徳島県徳島市元町一丁目7
資本金	1億円
主な業務	経営コンサルティング 投資事業有限責任組合の運営 事業承継支援(株式買取)など
設立年月日	平成26年7月31日



地域の活性化に関する取組状況

■地域経済循環創造への支援を行っています。

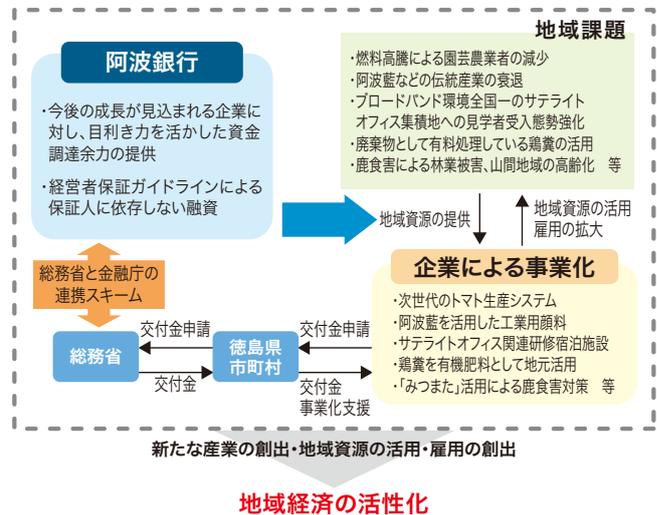
平成25年3月から、公的資金と民間融資によって持続可能な地域経済を創る「地域経済循環創造事業交付金」制度が開始されました。

地域経済循環創造事業交付金は、地域の資源と資金を活用して事業を起こし、雇用を生み出すモデルを構築する自治体・企業を支援し、「地域経済イノベーションサイクル」の全国展開を推進するものです。

地域金融機関には、融資を行うだけにとどまらず、事業性についての目利き・事業継続のリスクマネジメントが求められています。

当行では、当交付金の活用を推進するため、営業店・営業推進部・審査部等が連携し、交付金申請に際しての事業計画策定ならびに申請手続き支援および経営者保証ガイドラインに沿った積極的な融資を行っています。

過去6回の当交付金において、当行が支援した案件は10件採択され、補助金額358百万円、融資予定額510百万円となりました。当交付金制度は地域金融機関が地元経済の活性化に貢献できるものであり、今後も積極的に取組んでいきます。



■とくしまマルシェへの協力

毎月1回開催されている欧風産直市「とくしまマルシェ」は、農業ビジネス、観光、中心市街地の活性化という石三鳥の効果を狙い、スタートしました。

出店者の選定にあたっては、当行の農業サポートチームから、特徴的な製品の生産者に関する情報提供を行っています。



■とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業への協力

当行は、徳島県と「とくしま農山漁村(ふるさと)協働パートナー」協定を締結しています。農山漁村地域における農作業や文化活動などのボランティア支援を通じて、徳島の良きふるさとを守り、地域との交流を深める取組みを行っています。



■地域経済の分析・情報提供

公益財団法人徳島経済研究所は、当行の全額出資により昭和60年3月に設立されたシンクタンクで、①徳島県内の経済・産業動向等の調査研究②地域経済の活性化に関する調査研究③産業界や地方公共団体など各方面からの問い合わせへの対応④研究会や講演会の開催など、地域経済の発展に役立つ研究活動や情報発信を積極的に行っています。当研究所は、調査・研究成果の実現にも努めており、「とくしまマルシェ」や「徳島LEDアートフェスティバル」は当研究所の提案により実現いたしました。現在、観光ビジネス活性化に向けた提言も行っています。



■業務継続態勢の強化

当行は、地域のリーディングバンクとして、預金の払出しや資金決済など金融機能を維持していく大きな責任があります。近い将来発生が予想されている南海トラフ巨大地震などの大規模災害や新型インフルエンザなどの危険性の高い感染症が発生した場合においても重要な業務を継続できるよう、危機管理態勢、業務継続態勢の強化を進めています。



関係各所との連携を強化しています！

- 平成26年7月 四国4行による「大規模災害発生時の相互支援協定書」締結
- 平成26年12月 じゅうだん会参加による「災害時相互支援に関する協定書」締結
- 平成27年2月 徳島県および特定非営利活動法人アムダと「南海トラフ巨大地震等における医療救護活動に関する協定書」締結

お客様の生涯のパートナーとして、資産運用・ローン・相続など、
お客様のライフステージに応じた
あらゆるニーズにお応えします。お気軽にご相談ください。



就 職

将来に備えて貯蓄や
資産運用を始めてみたい。

- 定期預金、積立定期預金、公共債、外貨預金、投資信託などの金融商品を幅広くラインアップしています。
- お取引内容に応じて当行ATMの時間外手数料が無料になる「あわぎん plus card」もご利用ください。
- 窓口に行く時間がない方には、24時間365日お取引が可能なai-mo(あわぎんインターネット・モバイルバンキング)が便利です。



ライフスタイルの
変化に合わせた
保険のご相談は
お任せください。

阿波銀行保険コールセンター



お電話による医療・がん保険の資料請求・お申込みまでの窓口として営業しています。(通販専用)

フリーダイヤル

0120-888-522

受付時間 平日、土・日・祝日：午前10時～午後7時
※年末年始・GWなど所定の休業日がございます。

結 婚

これからのライフプランや
保険の見直しについて
相談したい。



■あわぎん相談プラザ〈新町〉

住宅ローンを中心とした各種個人向けローンや資産運用・年金など、ライフプラン全般に関するご相談からお申込みまでの窓口として、土・日・祝日も営業しています。各分野の専門スタッフが常駐しており、ゆっくりとご相談いただけるよう個室もご用意しております。また、住宅総合展示場「松茂住宅公園」で毎月第2日曜日に住宅ローン相談会を実施しています。



サービス内容

- 住宅ローンを中心とした個人ローンの相談および受付
- 資産運用に関する相談および受付
- 年金受給に関する相談および受付
- 生命保険・医療保険・がん保険・学資保険の相談および受付等(休日をご予約が必要です)

※通常の入出金業務・納税・振込みなどのお取扱いはいたしません。

営業時間

月～金曜日：午前9時～午後5時
土・日・祝日：午前10時～午後5時

※ただし、年末年始(12月31日～1月3日)、
ゴールデンウィーク(5月3日～5日)および阿波おどり
期間中の土、日曜日は休業いたします。

フリーダイヤル じゅうたくローンセンターにさあでんわ
0120-106-023

マイホーム購入

一生に一度の大きな買い物。
住宅ローンはどうしよう。



- そろそろエコカーに買い替えたい!あわぎんワイドローン(マイカープラン)なら、エコカー購入で金利割引!
- まとまったお金が必要になったり、急な出費が必要になったとき、あわぎんパワーアップカードローンがお役に立ちます。
- あわぎんワイドローン(フリープラン)ならお使いみち自由、借換えもOK!ホームページから仮審査のお申込みも可能です。



子どもの誕生

子どもの将来のこと、
万一のときや
病気・ケガに備えたい。



■あわぎんゆめプラザ

保険・住宅ローンを中心に、お客さまのライフプラン全般に関するご相談からお申込みまでの窓口として、土・日・祝日も営業しています。大型ショッピングセンター「ゆめタウン徳島」内で、お子さま連れのお客さまもゆっくりとご相談いただけます。また、定期的にセミナーや相談会を開催しています。

サービス内容

- 生命保険・医療保険・がん保険・学資保険の相談および受付
- 住宅ローンを中心とした個人ローンの相談および受付
- 資産運用に関する相談および受付
- 年金受給に関する相談および受付等

※通常の入出金業務・納税・振込みなどのお取扱いはいたしません。

営業時間

土・日・祝日を含む毎日：午前10時～午後6時

※ただし、「ゆめタウン徳島」の休業日、年末年始(12月31日～1月3日)を除きます。

TEL.088-692-8899



子どもの進学

子どもの教育資金、
計画的に備えたい。

- あわぎんワイドローン(教育プラン)なら、入学金や授業料だけでなく、下宿代やお子さまの生活費等にもご利用いただけます。



ローン計画のご相談は お気軽にどうぞ。

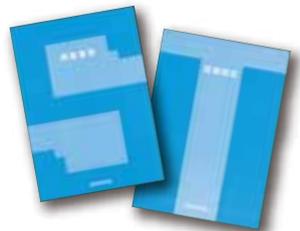
- 自宅のリフォームなら住まいのリフォームローンにおまかせ!お取引内容に応じて金利を優遇いたします。
- 「あわぎんソーラーローン」なら、太陽光発電の設備導入はもちろん、同時に実施するその他のリフォーム費用にもご利用いただけます。

資産形成

豊かなセカンドライフに
備えて、資産運用を
真剣に考えたい。



- 投資信託はお客様の多様なニーズにお応えする商品選定を行い、合計45商品を取扱っています。
- 平成26年1月にスタートした少額投資非課税制度<NISA>の口座開設手続きも受付しています。



■あわぎん証券プラザ(新町・鳴門・鳴門東)

株式売買のご注文の受付や、株式売買に関するご相談窓口として営業しています。

窓口営業時間

月～金曜日:午前9時～午後3時

サービス内容

- 金融商品仲介口座の開設
- 株式の売買に関するご相談および受発注
- 外債、仕組債の取扱
- 株式の受入れ 等

TEL受付時間

月～金曜日:午前8時45分～午後4時45分

フリーダイヤル

0120-8388-05

あわぎんお客さまサポートセンター



お客さまと阿波銀行を声で結ぶ双方向のアクセスチャネルとして、新サービス・お役に立つ情報のご案内を行っています。また、各種商品・サービスについてのご照会・ご相談窓口として営業しています。

営業時間

土・日・祝日を含む毎日:午前9時～午後5時

※ただし、年末年始(12月31日～1月3日)、ゴールデンウィーク(5月3日～5日)を除きます。

フリーダイヤル

サンキューハローバンク

0120-39-8689

相続

万一のとき、遺された
家族のことを
考えておきたい。

- 「大切な人に財産を残してあげたい」「どのような準備をしておけばいいの？」など相続に関するご相談にお応えします。
- 一時払終身保険など、万一のときに備えた商品を幅広く取扱っています。
- 円滑な相続の実現のため、お客さまが作成した遺言書を保管し、相続手続きを信託銀行等が代行する遺言信託や、もしものときに相続に関する手続きを相続人のみなさまに代わって円滑に進める遺産整理業務のご紹介を行っています。
- 「あわぎん教育資金贈与専用口座 ふれ藍」は、お孫さま等への教育資金贈与を支援します。お孫さま等おひとりにつき、教育資金1,500万円(学校等以外へのお支払いについては500万円)までの贈与が非課税となります(一定の要件を満たす必要があります)。

セカンドライフ

豊かな第二の
人生を送りたい。

お客さま向けセミナー

- お客さまの幅広いニーズにお応えするため、さまざまな講師をお迎えし、参加費無料の資産運用セミナーや相続セミナー、保険相談会等を開催しています。
- 「年金受給のための手続きは?」「年金はいつからいくらぐらい受取ることができるの?」などの疑問にお答えするため、年金相談会を開催しています。

やすらぎ倶楽部

- 年金受取の予約や新規受取開始時にプレゼントをお渡しします。
- 毎年お誕生月にプレゼントをお渡しします。
- 温泉や各種店舗の優待券がついた、ゆとりクーポンを毎年お送りします。

アイモ
ai-mo (あわぎんインターネット・モバイルバンキング)

休日や夜間でも、携帯電話やパソコンから残高照会やお振込み、お振替等のサービスがご利用いただけます!

24時間
365日
利用可能!

サービス
利用料無料!

セキュリティ
強化!



振込手数料がお得!

店舗窓口でのお振込みより振込手数料がお得です。
阿波銀行宛のお振込みなら手数料無料!

たとえば・・・阿波銀行宛のお振込みの場合

	店舗窓口 ご利用	ATMご利用 カード・通帳振替の場合	ai-mo なら!
3万円未満	324円	108円	無料
3万円以上	540円	216円	無料



投資信託の購入も!

インターネットバンキングで投資信託の購入や解約のお手続きが可能です。購入時の申込手数料は店舗窓口取扱分と比べて20%お得です!



セキュリティを強化しています!

従来のセキュリティに加え、合言葉による追加認証を求める方式(リスクベース認証)を導入し、セキュリティ強化を図っています。また、当行ホームページ上で、ウイルス対策ソフトの無償配布を行っています。



外貨預金も口座開設から ai-mo で!

外貨預金(普通、積立、定期)の口座開設から、入出金振替、公表為替相場、金利照会などがご利用いただけます。取扱通貨は米ドル、ユーロ、豪ドルの3種類です!

あわぎんホームページ
<http://www.awabank.co.jp/>

お問い合わせは
☎0120-39-6263
(高照会時間/平日:午前9時~午後5時)

内部統制システムの整備の状況について

当行は、「内部統制システム構築の基本方針」を以下のとおり定め、当行グループ全体の内部統制の整備・強化に努めております。

内部統制システム構築の基本方針

当行は、「内部統制システム構築の基本方針」(注)を以下のとおり定める。本決議に基づく内部統制システムの構築は、当行の行是「**堅実経営**」を具現するものであり、必要ある場合は速やかに見直すものとする。

(注)会社法第362条第5項に基づく「取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務並びに当該株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要な体制」をいう。

1. 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

(会社法第362条第4項第6号および会社法施行規則第100条第1項第4号)

- 1) 全役職員に法令・定款の遵守を徹底するため、「コンプライアンス基本方針」を定め、リスク統括部を統括部門とするコンプライアンス態勢を整備する。
- 2) 経営管理委員会を設置し、コンプライアンスに関する重要事項の協議・決定やコンプライアンス態勢の実効性の検証等を行う。
- 3) 事業年度ごとに「コンプライアンス・プログラム」を策定し、進捗状況を管理・検証することにより、継続的なコンプライアンス態勢の充実・強化を図る。
- 4) コンプライアンスの遵守基準として「職員倫理」を制定し、全役職員に銀行の社会的使命の自覚を促し、信用保持に向けた意識づけを図る。また、法令・定款等に違反する行為を発見した場合の報告体制として内部通報制度を構築する。
- 5) 財務報告に係る内部統制および開示統制に関する態勢を整備する。
- 6) 反社会的勢力に対する基本方針を定め、反社会的勢力との関係を遮断し、被害を防止するための態勢を整備する。
- 7) 内部統制の妥当性と有効性を監査する部門として監査部を設置し、当該部門の陣容・専門性に十分配慮した人員配置を行う。
- 8) 監査部は、「内部監査基本方針」に基づき、コンプライアンス態勢の適切性を検証する。また、検証結果を定期的または必要に応じて取締役会に報告する。

2. 取締役の職務執行に係る情報の保存および管理に関する体制

(会社法施行規則第100条第1項第1号)

- 1) 取締役の職務の執行に係る情報の取扱いは、行内の各規程に従い、①取締役会、常務会、経営管理委員会等の重要な会議の議事録、②立案書、③取締役を最終決裁者とする契約書類、④その他取締役の職務執行に関わる書類等を適切に保存および管理(廃棄を含む)し、閲覧可能な体制を維持する。
- 2) 「情報資産管理基本規程」、顧客情報保護に関する規程等を制定し、法令等遵守と信用の保持のため厳正な情報管理態勢を構築する。

3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

(会社法施行規則第100条第1項第2号)

- 1) 統一的かつ網羅的なリスク管理統括部門としてリスク統括部を設置する。
- 2) リスク管理の基本である「統合的リスク管理方針」に基づき、「統合的リスク管理規程」およびリスクカテゴリーごとに「リスク管理規程」を制定し、各リスク管理部門が当該リスクを管理する。
- 3) 経営管理委員会を設置し、リスク管理に関する重要事項の協議・決定やリスク管理態勢の実効性の検証等を行うとともに、市場環境の変化によるリスクの変化を把握し、資産・負債の総合的管理を実施する。
- 4) 事業年度ごとに当行グループ全体の「リスク管理プログラム」を策定し、進捗状況を管理・検証することにより、継続的なリスク管理態勢の充実・強化を図る。
- 5) 「緊急事態管理規程」を制定するとともに、災害・障害等の発生時に備えて、業務継続計画を含む対応マニュアルを整備することにより、当行グループ全体で危機管理体制を構築する。
- 6) 監査部は、「内部監査基本方針」に基づき、リスク管理態勢の適切性を検証する。また、検証結果を定期的または必要に応じて取締役会に報告する。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

(会社法施行規則第100条第1項第3号)

- 1) 経営戦略、個別の業務戦略および各種リスク管理等に関する事項を協議する機関として、常務会、経営管理委員会および経営会議を設置する。
- 2) 取締役会は、代表取締役およびその他の業務を執行する取締役ならびに執行役員に職務分掌に従い、職務執行を行わせる。
- 3) 適正な自己資本維持による健全性と株主価値向上を勘案し、当行グループ全体の経営計画および業務運営計画の策定を行う。
- 4) 重要な業務執行として、「取締役会規則」に付議事項を定め、これを遵守し、審議の過程においては善管注意義務および忠実義務に基づき意思決定を行うものとする。
- 5) 日常の職務遂行に際しては、「内規」、「職務権限規程」等に基づき権限の委譲を行い、各責任者が委譲された権限を行使し、適切に業務を遂行する。

5. 当行および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

(会社法施行規則第100条第1項第5号)

- 1) 当行は、「内部統制システム構築の基本方針」に従い、グループ全体でのガバナンス態勢、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢を確立する。
- 2) 取締役会は、当行がグループ経営を行うにあたっての基本的事項を定めた「グループ会社管理規程」を制定し、グループ連結経営の効率化と適正化を図る。

- 3) 当該規程に基づき、四半期ごとに子会社による業績報告会を開催し、経営内容の把握とリスク情報の共有化を行う。
- 4) 各子会社にコンプライアンス委員会およびコンプライアンス統括部門を設置し、コンプライアンス態勢を構築する。
- 5) 当行グループ内の取引は、法令、社会規範等に照らし適切な条件で行うものとする。
- 6) 子会社のガバナンス強化のため、当行取締役・監査役が子会社の監査役に就任する。また、業務の執行状況の適正性を監査するために監査部による監査を行う。
- 7) 当行と子会社との間における不適切な取引または会計処理を防止するため、リスク統括部は、子会社のコンプライアンス統括部門等と十分な情報交換を行う。
- 8) 法令等に違反する行為を発見した場合の報告体制として、各子会社に内部通報制度を構築する。

6. 監査役の職務を補助すべき使用人を置くことならびに当該使用人の取締役からの独立性および当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

(会社法施行規則第100条第3項第1号、第2号および第3号)

- 1) 監査役の職務を補助すべき部署として監査役室を設置し、専任の職員を1名以上配置する。
- 2) 監査役室付職員の任命・異動については、監査役会と事前に協議する。
- 3) 当該職員の人事考課は、常勤監査役が行う。
- 4) 当該職員は、当行の業務執行に関わる役職を兼務せず、監査役の指揮命令下で職務を遂行する。

7. 当行および子会社の役職員が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制

(会社法施行規則第100条第3項第4号)

- 1) 当行および子会社の役職員は、取締役会その他の会議において業務執行状況およびその他の必要な情報提供を行う。
- 2) 当行および子会社の役職員は、監査役に対し次に掲げる事項について速やかに報告を行う。
 - ① 取締役の不正の行為または法令・定款に違反する事実
 - ② 職員の法令違反または重大な規程違反
 - ③ 内部通報制度の運用および通報の内容
 - ④ 重大な顧客情報漏えい事件
 - ⑤ 重大な影響の見込まれるシステムトラブル、事務事故、係争事件、大口倒産の発生
 - ⑥ 内部統制システム上の重大な欠陥の発見
 - ⑦ 子会社の経営に重大な影響を及ぼす可能性のある事項
 - ⑧ 経営方針および経営計画に関する事項
 - ⑨ 業績および業績予想その他重要な情報開示の内容
 - ⑩ 重要な会計方針、会計処理・記載方法の変更
 - ⑪ その他経営に重大な影響を及ぼす可能性のある事項
- 3) 当行および子会社の役職員は、監査役が監査に必要な決裁文書等を、常時閲覧できる体制をとる。

8. 報告者が監査役への報告を理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

(会社法施行規則第100条第3項第5号)

- 監査役がその職務の執行について、当行および子会社の役職員が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けることを禁止し、その旨を当行および子会社の役職員に周知徹底する。

9. 監査役がその職務の執行について生ずる費用の前払または償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用または債務の処理に係る方針に関する事項

(会社法施行規則第100条第3項第6号)

- 監査役がその職務の執行について、当行に対し、会社法第388条に基づく費用の前払等の請求をしたときは、経営統括部において審議の上、当該請求に係る費用または債務が当該監査役の職務の執行に必要でないことを証明した場合を除き、速やかに当該費用または債務を処理する。

10. その他監査役が監査を実効的に行われることを確保するための体制

(会社法施行規則第100条第3項第7号)

- 1) 代表取締役は、監査役と定期的な意見交換を行い、意思疎通を図る。
- 2) 監査役とリスク統括部・監査部・会計監査人が情報交換を行い、緊密に連携できる体制を構築する。
- 3) 監査役会は、監査に必要あるときは、独自に弁護士、公認会計士、コンサルタント等の専門家と契約を行うことができる。

リスク管理態勢について

金融技術の革新等により、金融業務に付随するリスクは拡大、多様化しています。当行は、リスク管理を経営上の最重要課題の一つとして位置づけ、さまざまなリスクを適切に管理し、経営の健全性と効率性の向上が図られるよう、リスク管理態勢の充実・強化に取り組んでいます。

■信用リスクについて

信用リスクとは、お取引先の財務状況の悪化等により、資産（オフ・バランスを含む）の価値が減少ないし消滅し、損失を被るリスクのことをいいます。

当行では、「信用リスク管理方針」を定め、各部門において適切にリスク管理を実行し、信用リスクを有する資産の健全性の維持・向上、および最適なポートフォリオの構築に努めています。また、信用リスク管理手法の見直しを継続的にを行い、その高度化を図っています。

資産の健全性を維持・向上させるため、本部審査部門は従来から一貫して営業推進部門等からの独立性を確保し、適切な審査・管理を行う態勢としています。また、リスク統括部が信用格付・自己査定の見直し、与信ポートフォリオ管理等により、営業店や本部審査部門に対して牽制機能を発揮するとともに、信用格付・自己査定制度のさらなる充実に取り組んでいます。

個社別の信用リスク管理としては、財務分析システムを利用した企業分析などにより、定期的にお取引先の実態把握を行っています。与信残高等が一定の基準に該当するお取引先については、その実態把握に基づいて「信用格付」を実施し、その信用格付

を年1回以上見直すとともに自己査定を行い、貸出資産劣化の防止に努めています。

自己査定制度とは、お客さまの預金などが、どの程度安全確実な資産に見合っているかを判定する制度です。当行では、行内ルールにより、貸出金などの資産内容を個別に検討し、回収の危険性または価値の毀損の危険性の度合いに従って区分し、この自己査定結果に基づいた適正な償却・引当を実施することにより、当行すべての資産における健全性を堅持しています。

個別貸出案件の審査に当たっては、信用格付を基礎とするとともに、担保価値に過度に依存することなく、業種の特性や技術力、成長性、キャッシュ・フローによる債務償還能力などを総合的に勘案し、経営実態を踏まえて判断しています。

与信ポートフォリオ管理については、特定の地域・業種・グループに対する与信集中の状況などを定期的に把握することに加え、全国地方銀行協会の「信用リスク情報統合システム（CRITS）」等を活用し、信用リスクデータの蓄積や信用リスク量の算出を行うことなどにより、信用リスクをコントロールしています。

■市場リスクについて

市場リスクとは、金利、株式、為替等のさまざまな市場リスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフ・バランスを含む）の価値が変動し損失を被るリスクや資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクのことで、金融のグローバル化の進展や金融技術の革新に伴い、多様化・複雑化しています。

当行では、「経営体力の範囲内で適正な市場リスクをとり、収益の安定的向上を図るため、当行の有する市場リスクを的確に把握するとともに、経営体力、業務の規模・特性に見合った管理・コントロールを実施する」を基本方針とし、管理態勢の充実に努め、市場リスクの最適化を図っています。

市場リスクの管理態勢

当行では、市場取引を行う市場部署（フロントオフィス）、市場部署が約定した取引の確認と事務を行う事務管理部署（バックオフィス）に加え、リスク管理部署（ミドルオフィス）を設置しリスク許容額を定め損益状況や市場リスクを計測し、定期的にリスク状況が経営陣に報告され、適正な対応がとられる態勢となっています。

市場リスクの管理手法

当行では市場取引のリスクに対して、VaR（バリュー・アット・リスク）法を用いて、金利変動リスク、価格変動リスクおよび為替変動リスクの統合管理を行っています。また、円金利リスクについては、預金・貸出金を含めた銀行全体でのリスクをギャップ分析、現在価値分析、BPV（ペーシス・ポイント・バリュー）法などによりきめ細かく管理しています。

■流動性リスクについて

流動性リスクとは、運用と調達の間隔のミスマッチや予期せぬ資金の流失により、必要な資金確保が困難になる、または通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被る資金繰りリスクや市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被る市場流動性リスクのことをいいます。

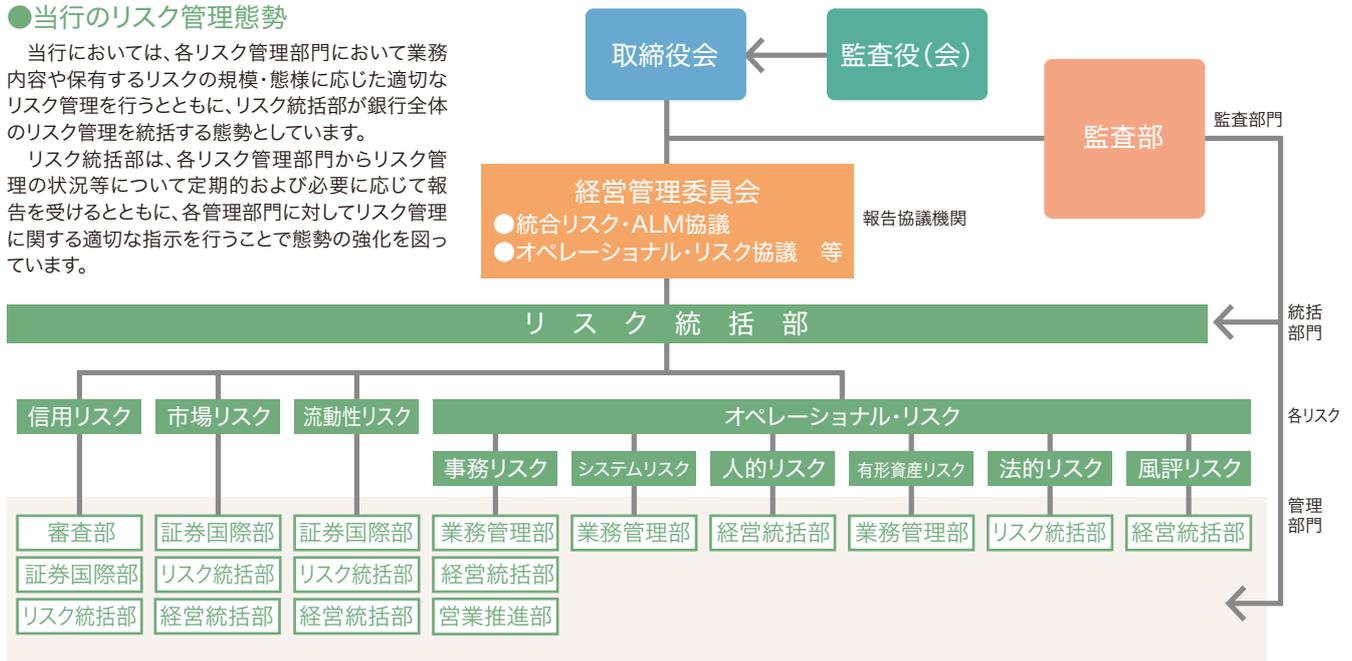
当行では、資金の逼迫をもたらすことのないよう資産の健全性と信用の維持に努めるほか、常に余裕を持った資金繰りを行うことができるよう資金調達や運用状況の分析を日々綿密に行うとともに、国債等の換金性の高い資産については健全な保有比率を維持することとしています。

また、資金繰り逼迫時の対応をまとめた危機管理対策をあらかじめ策定し、流動性リスク管理に万全を期しています。

● 当行のリスク管理態勢

当行においては、各リスク管理部門において業務内容や保有するリスクの規模・態様に応じた適切なリスク管理を行うとともに、リスク統括部が銀行全体のリスク管理を統括する態勢としています。

リスク統括部は、各リスク管理部門からリスク管理の状況等について定期的および必要に応じて報告を受けるとともに、各管理部門に対してリスク管理に関する適切な指示を行うことで態勢の強化を図っています。



■ オペレーショナル・リスクについて

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的な事象により損失が発生するリスクのことで、当行では、「事務リスク」、「システムリスク」、「人的リスク」、「有形資産リスク」、「法的リスク」、「風評リスク」について管理を行っています。

これらのリスクは業務運営上可能な限り回避すべきリスクであり、当行では、「オペレーショナル・リスク管理方針」を定めるとともに、適切に管理するための組織体制および仕組みを整備し、リスク発生 of 未然防止、および発生時の影響の極小化に努めています。

● 事務リスクについて

事務リスクとは、役職員が正確な事務を怠る、あるいは事故、不正等を起こすことにより損失を被るリスクをいいます。

当行では、取扱商品の多様化、複雑化および事務取扱量の増大に伴い、将来発生することが想定される事務リスクを回避するため事務管理態勢の強化に取り組んでいます。

営業店に対しては自店検査の定着、事務指導体制の充実、監査部による厳正な監査を実施するとともに、本部各部に対しても監査を実施し管理態勢を強化しています。

● システムリスクについて

システムリスクとは、災害や機器・回線障害等、コンピュータ・システムの停止やコンピュータの誤作動等により損失を被るリスクをいいます。

銀行業務は多様化、複雑化し、コンピュータ・システムは銀行に欠くことのできない存在となっています。このコンピュータ・システムを適正かつ円滑に運用することは、お客さまに質の高いサービスを提供するうえで極めて重要であり、当行では、災害や障害等に備え、「緊急事態対応計画(コンティンジェンシー・プラン)」を策定するとともに、

種々のリスク対策に積極的に取り組んでいます。また、コンピュータ機器、通信回線などの二重化によるバックアップ体制整備等、十分な災害・障害対策を講じるとともに、さまざまな基盤・安全対策の拡充に取り組んでいます。

当行では今後とも、最新の技術を活用し、より安全で利便性の高いシステムの構築に取り組むとともに、万が一システム障害が発生した場合には、お客さまに迅速な情報提供を行うよう万全を期すこととしています。

● その他オペレーショナル・リスクについて

「人的リスク」、「有形資産リスク」、「法的リスク」、「風評リスク」につきましても、それぞれにリスク管理方針を定め、適切な管理を行っています。

「人的リスク」とは、人事労務上の問題等に起因して損失を被るリスクをいいます。「有形資産リスク」とは、災害やその他の事象により生じる有形資産の毀損や損害を被るリスクをいいます。「法的リスク」とは、訴訟の発生や各種法令・規制の変更により予期せぬ損害を被るリスクをいいます。「風評リスク」とは、企業に対する否定的な世論(悪い評判)が、企業の収益や資本、顧客基盤等に損失をもたらすリスクをいいます。

用語解説

経営管理委員会

経営管理委員会は、経営管理態勢のより一層の強化を図ることを目的に、「統合リスク・ALM管理」「コンプライアンス」「オペレーショナル・リスク管理」「内部監査」等、内部統制全般に関する重要事項について、効率的かつ実効性の高い協議を実施する機関です。当委員会は、頭取が委員長を務め、原則毎月1回以上開催し、また委員長が必要と認めたとときには、顧問弁護士や関係部署の役職員を出席させ意見、説明、報告を求めることができるなど、適切な判断ができる体制を整えています。

コンプライアンス態勢について

銀行は、金融機能を通じて、経済、社会の発展に貢献するという公共的、社会的使命を担っています。こうした使命を全うするには、業務の健全かつ適切な運営と社会からの信頼を確立しなければなりません。銀行として公共的、社会的使命を遂行し、お客さまの信頼にお応えするには、コンプライアンスの徹底が必要不可欠です。コンプライアンスとは、一般的に法令等遵守と訳されていますが、当行では、法令のみならず社会規範、行内規則なども含めたものとして幅広くとらえ、コンプライアンスの充実・強化に取り組んでいます。

■コンプライアンス態勢の整備

リスク統括部にてコンプライアンス全般を統括するとともに、コンプライアンスに関する重要事項を協議・決定する全行的機関として、経営管理委員会を設置しています。また、部店長をコンプライアンス責任者、次席者をコンプライアンス担当者として全部店に配置するなど、コンプライアンス態勢を整備しています。

■コンプライアンスの徹底

コンプライアンスの基本方針、遵守基準、規程を制定し、職員の公私両面にわたるコンプライアンスの徹底を図っています。また、職員のコンプライアンスに対する理解を深めるために、コンプライアンス・マニュアルを発行し、各部店での勉強会や自己啓発等のテキストとして積極的に活用することで、コンプライアンスの研鑽に努めています。コンプライアンス研修は、階層別、職務別研修の他、月1回「コンプライアンスの日」を設定し、部店内研修を実施しています。さらに、コンプライアンス担当者の研修を定期的で開催し、重要なコンプライアンス事項を全部店に徹底しています。また、定期的に全職場・全職員を対象とするコンプライアンス・チェックを実施しています。

■内部監査態勢の充実・強化

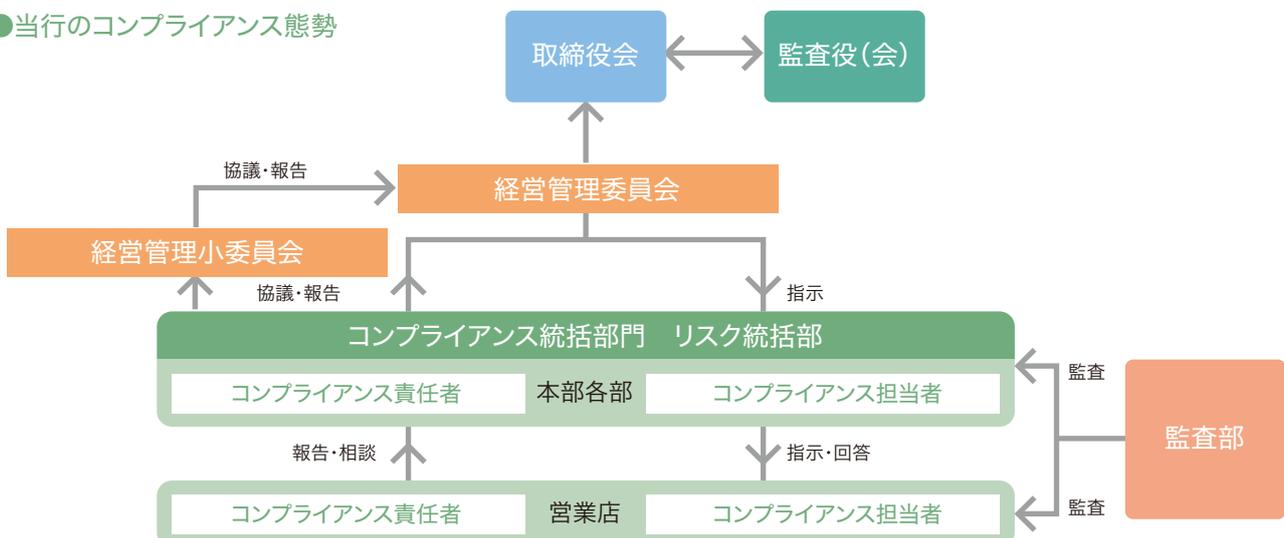
監査部による本部監査、営業店監査を全部店に実施し、業務の運営状況等をチェックしています。本部監査では、内部監査規程・内部監査マニュアルに基づき、本部各部の相互牽制機能やプロセス管理機能など、内部統制の妥当性と有効性を監査しています。営業店監査では、不祥事件の防止および事務の厳正化の観点から、総合監査のほかに部分監査・指示検査を効果的に行っています。さらに、本部各部・営業店による厳正な自主検査を定期的に行っています。

■コンプライアンス・プログラムの実行

コンプライアンスを充実・強化するための実行計画としてコンプライアンス・プログラムを策定しています。平成27年度は、重点項目として(1)法令等遵守態勢の強化(2)顧客保護等管理態勢の強化を掲げ、本部・営業店別のプログラムに基づいてさまざまな施策を実施しています。

当行は、コンプライアンスを経営上の最重要課題の一つと位置づけ、コンプライアンスに基づいた経営に徹することで、銀行の公共的、社会的責任を果たし、お客さまの信頼にお応えしてまいります。

●当行のコンプライアンス態勢



マネー・ローンダリング／テロ資金供与防止・振り込め詐欺被害者への対応について

■マネー・ローンダリング／テロ資金供与防止

マネー・ローンダリング／テロ資金供与防止を金融機関のコンプライアンスの問題と位置づけています。また、犯罪組織による金融サービスの濫用を防止するため、「犯罪による収益の移転防止に関する法律」によるお客さまの本人確認や不正利用口座の取引停止措置などを厳格に実施しています。

■振り込め詐欺被害者への対応

不正利用口座の取引停止をすみやかに行うとともに、「犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律」(振り込め詐欺救済法)に沿って、不正利用口座の消滅手続や被害に遭われた方への被害回復分配金の支払などを実施しています。

キャッシュカード・インターネットバンキングセキュリティ対策について

お客さまにキャッシュカード、インターネットバンキングを安心してご利用していただくために次のようなセキュリティ対策を実施しています。

■キャッシュカード セキュリティ対策

- 指静脈生体認証機能付ICキャッシュカードを発行しています。
- ATMで1日あたりのご利用限度額の変更ができます。
- ATMで暗証番号の変更ができます。
- ATM画面に、のぞき見防止の「遮光フィルター」を設置しています。
- 暗証番号を3回連続して間違った場合、カードが使用できなくなります。
- ATMご利用明細票の口座番号下6桁を非表示としています。

■インターネットバンキング セキュリティ対策

- スパイウェア対策として、「ソフトウェアキーボード」を導入しています。
- フィッシング詐欺対策として、「EV SSLサーバ証明書」を導入しています。
- セキュリティレベルの高い「可変パスワード方式※」を採用しています。
- ai-mo(個人向け)に合言葉による追加認証を導入しています。
- 当前ホームページ上でウイルス対策ソフトを無償配布しています。
※入力するパスワードの組合せを「ご利用カード」に記載の数字から選択する方式。組合せはご利用の都度変更されます。

万一被害に遭われた場合のご連絡先

24時間365日、受付けています。

平日(午前9時～午後5時)

お取引店または ☎0120-10-6135 (あわぎんATMセンター)

平日(上記以外の時間帯)および土・日・祝日

☎0120-10-6135 (あわぎんATMセンター)

■被害補償について

	個人(個人事業主)のお客さま		法人のお客さま
	キャッシュカード	貸越専用 ローンカード	キャッシュカード・ 貸越専用ローンカード
偽造	原則、全額補償※1	最大100万円※2	最大200万円※2
盗難	原則、全額補償※1		
紛失等	最大200万円※2		
デビット取引			

○個人のお客さまの盗難通帳についても原則全額補償いたします。

※1 お客さまの通帳・カード・暗証番号の管理状況により、補償額が減額される場合や補償されない場合もございます。

※2 当行所定の取引限度額を上限とします。

■生体認証機能付ICキャッシュカードの導入

- 平成19年7月から生体認証機能付ICキャッシュカードを導入しています。
- カード情報をICチップに暗号化して記録することで、カードの偽造を防止します。
- 生体認証機能付ICキャッシュカードは、ICチップに加え、従来のキャッシュカードと同様、磁気ストライプも搭載していますので、IC対応ではないATMなどでもご利用いただけます。

万一被害に遭われた場合、サービス停止受付に関するご連絡先

24時間365日、受付けています。

ai-mo
個人向け

平日(午前9時～午後5時)

☎0120-39-6263 (お客さまサポートセンター)

平日(上記以外の時間帯)および土・日・祝日

☎0120-10-6134 (あわぎんATMセンター)

ai-mo
法人向け

平日(午前9時～午後5時)

☎0120-81-1727 (お客さまサポートセンター)

平日(上記以外の時間帯)および土・日・祝日

☎0120-10-6134 (あわぎんATMセンター)

■被害補償について

個人向けインターネット・モバイルバンキング	原則全額補償
法人インターネットバンキング	年間最大3,000万円

※お客さまのパソコン・携帯電話の管理状況により、補償額が減額される場合や補償されない場合もございます。

- 生体(指静脈)情報をカードに登録し、生体認証取引をご利用いただくことで、さらにセキュリティがアップします。
- 生体認証機能付ICキャッシュカードとクレジットカード(VISAまたはJCB)を1枚にした「あわぎんplus card」も取扱っております。

※生体認証のご利用には、カード到着後にあらためてご来店いただき、生体情報(指静脈パターン)の登録が必要となります。

「お客さまの声」をお聞かせください（CIS向上に向けた取組みについて）

当行は、経営方針に掲げた「お客さま第一」を実現するため「お客さまの声」を通じ、CIS（お客さま感動満足）向上に向け、より質の高いサービスの提供に全行をあげて取り組んでいます。

全役職員がお客さまとのあらゆる「接点」を大切にし、常にお客さまの立場に立って物事を考え、熱意をもった対応を迅速に実践していくことを行動指針としています。

また、各店のロビーおよびキャッシュコーナーに「お客さまご意見カード」を設置しています。お客さまの声に耳を傾けて業務全般に反映させ、お客さまの満足度向上に努めています。



お客さま第一対応宣言

当行では、金融業務の健全性・適切性を確保するとともに、「信用の維持」・「預金者の保護」・「金融の円滑化」を図るため、お客さまの視点から業務を捉えなおし、不断に検証、改善していく基本的な方針として、「お客さま第一対応宣言」を制定しております。

- 当行はお客さま第一を経営の基本とし、法令やルールを厳格に遵守し、社会規範に則り、誠実かつ公正な企業活動を遂行します。また、お客さまの正当な利益の保護や利便性の向上に向けて積極的に取り組みます。
- 当行はお客さまへの説明を要するすべての取引や商品について、お客さまの知識、経験、財産の状況および投資目的等に照らし、お客さまのご理解を得られるよう適切な情報提供と商品説明を行います。
- 当行はお客さまからのお申し出に対しては迅速かつ適切にそして誠意をもって対応し、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めるとともに、お客さまの声を経営に反映します。
- 当行はお客さまの情報はお客さまの大切な財産と位置づけ、取得したお客さまの情報を適切に管理するため、組織的・人的・技術的な安全管理措置を講じ、お客さまの情報に対する不正なアクセス、情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等の防止に取り組みます。
- 当行が行う業務を外部業者に委託する場合は、委託先に対する必要かつ適切な管理を行います。
- 当行はお客さまの利益が不当に害されることのないよう、業務遂行にあたり利益相反の管理を適切に行います。

なお、お客さまからのご意見、ご要望は営業店または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

<お問い合わせ窓口> あわぎん お客さまサポートセンター  0120-39-8689

金融ADR制度への対応について

当行は指定紛争処理機関（指定金融ADR機関）である「全国銀行協会」および「信託協会」と手続基本契約を締結しております。当行との取引に関するお問い合わせ・ご意見・苦情等につきましては、当行窓口のほかに指定金融ADR機関をご利用いただけます。詳しくは当行本支店の窓口、またはお客さまサポートセンターへお問い合わせください。

当行が契約する指定金融ADR機関

指定金融ADR機関名	業務の種別	お問い合わせ先
全国銀行協会	銀行業務	全国銀行協会相談室 受付時間：月～金曜日（祝日等除く） 9:00～17:00 0570-017109 または 03-5252-3772
信託協会	信託業務	信託相談所 受付時間：月～金曜日（祝日等除く） 9:00～17:15 0120-817335 または 03-6206-3988

金融ADR制度とは

金融分野における裁判外紛争解決制度（Alternative Dispute Resolution）のことです。訴訟に代わる、あっせん・調停・仲裁等の当事者の合意に基づく紛争解決方法であり、事案の性質やお客さまの事情等に応じた迅速・簡易・柔軟な紛争解決が期待されます。お客さまと金融機関との間で十分に話し合いをしても、問題が解決しないような場合に利用することができる制度です。

人材育成について

環境変化に対応できる自律型人材を創造し、さらに地域に密着した高付加価値営業を実践してまいります。

当行は、「人材の育成」を経営方針の一つに掲げています。

「長期人材育成計画」に当行の行員としてのめざすべき姿を明示し、人材開発制度を制定、行員の人材開発PDCAの実現によって、お客さまから信頼され、お客さまのニーズにお応えできる人材の育成に取り組んでいます。



めざす
行員像

- 1.働くことを通じて自己を高めようと自ら考えて行動する行員
- 2.高い人格と見識を備え、人間としての魅力あふれる行員
- 3.地域の発展とともに当行の成長に貢献する行員

集合研修

行内研修

徳島市上八万町の研修所では、各種研修会を開催し、行員の能力向上を図っています。

階層別研修会

新入行員研修会をはじめとして階層別に研修会を開催し、阿波銀行の行員としてふさわしい人格の形成と責任ある行動の実践を促しています。

職務別研修会

融資業務や各種商品知識の習得等に関する研修会を開催し、行員の知識や能力の向上を図っています。特に、地域密着型総合金融サービス業に必要なコンサルティングセールスや問題解決型営業のできる人材を開発する研修会を集中的に開催しています。

行外研修

高度な専門知識を習得するとともに視野を広げるために、国内外の銀行や各種団体へ積極的にトレーニーを派遣しています。

自己啓発支援

能力開発に積極的に取り組む職場風土を醸成するため、eラーニングシステム・通信講座の受講、検定試験の合格や公的資格の取得をサポートしています。また、幅広い知識の習得をめざし、休日に自主参加研修会としてさまざまなテーマでセミナーを開催しています。

OJT体制

先輩行員からの直接指導や職場内での勉強会など、現場での能力開発体制を構築しています。指導役の行員の教育も行い、上司も部下も双方向で働きかけ、お互いに成長する「人材開発」の実現を図っていきます。



地域行事への積極的な参加



徳島の夏の風物詩である阿波おどりには、毎年元気な「あわぎん連」の姿があります。地元徳島とともに歩む銀行として、地域のみなさまとの温かいコミュニケーションを大切にしたいと考え、地域の行事や催しに積極的に参加・協力をしています。

阿波踊り

各種スポーツ大会を通して青少年の育成を支援



阿波銀カップ
少年サッカー選手権大会

当行および公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団が主催する各種スポーツ大会の開催を通じて、青少年の健やかな育成を応援しています。



阿波銀行ジュニア
ソフトテニス大会



阿波銀行小学生
軟式野球選手権大会



ミニバスケットボール
阿波銀行選手権大会

豊かな社会づくりのために

公益財団法人阿波銀福祉基金は、昭和51年の基金設立以来、徳島県内の児童福祉施設や保育園、あるいは高齢者や身体障がい者の方の福祉施設・団体に必要な備品や教材の寄付、施設の整備など幅広く助成を続けています。設立から平成26年度までの助成額は、694件・1億3,235万円となりました。



良き企業市民として

「小さな親切」運動への積極的な取り組み

当行は「小さな親切」運動徳島県本部の事務局として、年2回の実行章贈呈式を開催するなど、「小さな親切」運動の普及・拡大に努めています。



献血活動への積極的な参加

平成7年から、当行職員が成分献血者の登録を行い、成分献血に参加しています。



安心してご利用いただくために

すべてのお客さまに安心してご利用いただくために、バリアフリーに向けた対応・店舗づくりを進めており、視覚に障がいのあるお客さまにもご利用いただける音声案内ATMを、全店の店舗内ATMに設置しています。

また、認知症サポーター養成研修を定期的に開催しているほか、平成27年1月には、徳島県と「高齢者等の見守り活動に関する協定」を締結するなど、地域に根ざした銀行として、地域福祉の向上に向けて取り組んでいます。



認知症サポーター養成研修



音声案内ATM

金融経済を楽しく学びきっかけに

当行職員による各種出前授業や、「夏休み親子ふれあい金融機関見学会」を開催しています。

また、高校生を対象とした全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」徳島大会の開催を通じて、金融経済を楽しく学びきっかけづくりを行っています。



「エコノミクス甲子園」徳島大会



夏休み親子ふれあい金融機関見学会



地元サッカーチームを応援

当行は、サッカーJ2「徳島ヴォルティス」をユニフォームスポンサーとして応援しています。平成27年5月には「阿波銀行マッチデー」を開催するなど、スポーツ振興を図り、地域の活性化に向けて取り組んでいます。



徳島ヴォルティス 阿波銀行マッチデー



あわぎん ECOプロジェクト

地球環境保護への取組み

「あわぎんECOプロジェクト」と名づけたさまざまな環境保護活動を実践しています。徳島の豊かな自然を次世代に残すため、職員のボランティアによる吉野川・穴吹川の河川敷清掃活動や、森林保護活動などを継続して行っています。

銀行業務を通じてお客さまのエコ活動を応援しています！

あわぎん太陽光発電ローン

電力会社への電力供給を目的とした発電事業のための設備資金専用商品です。法人および個人事業主のお客さまに太陽光発電設備導入にかかる必要な資金を供給し、地域の環境負荷減減に貢献します。

あわぎんソーラーローン

太陽光発電や家庭用蓄電池の設備を導入するお客さまに、低利かつ無担保でご融資が可能な商品です。家庭への太陽光発電設備の設置を促進し、省エネルギー化に貢献します。



「うちの土手」清掃活動

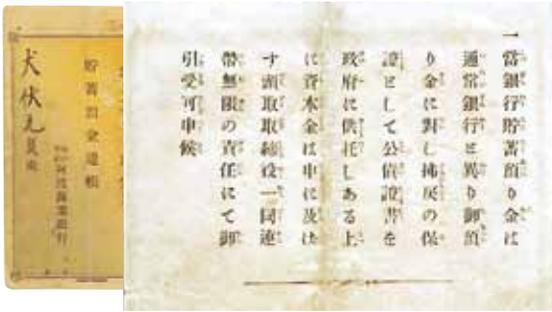


「あわぎんの森」森づくりボランティア活動

当行の概況

当行の歩み

明治33年当時の当行の貯蓄預金通帳には『…頭取・取締役一同連帯無限の責任にて御引受申すべく候』と記されています。この精神は行是「堅実経営」のなかに今なお引継がれています。



旧本店

明治

久次米銀行
明治13年1月創業

関西部分離

前身銀行
合名会社
阿波銀行
明治25年2月創業

阿波商業銀行
明治29年6月創業



明治末期の
引札(ちらし)

大正

貯蓄部分離

大正9年5月創業(大正13年4月二木銀行と改称)

二木ビルプロカー銀行

昭和9年4月合併

阿波貯蓄銀行

大正10年12月創業

昭和3年6月合併

徳島貯蓄銀行

大正10年12月創業

昭和2年2月休業

昭和3年5月
営業権譲受

徳島銀行

明治15年5月創業

昭和2年2月休業
昭和3年5月廃業

明治29年6月	明治31年10月	大正10年12月	昭和2年3月	昭和3年5月	昭和9年4月	昭和18年8月	昭和19年1月	昭和26年7月	昭和35年12月	昭和39年10月	昭和40年9月	昭和41年7月	昭和41年10月	昭和43年3月	昭和48年1月	昭和48年4月	昭和49年2月	昭和50年2月	昭和51年9月	昭和52年3月	昭和56年3月	昭和56年4月	昭和58年4月	昭和59年7月	昭和59年9月	昭和60年3月	昭和60年6月	昭和60年8月	昭和61年4月	昭和62年11月	昭和63年1月	昭和63年6月	昭和63年7月
株式会社阿波商業銀行創業 資本金45万	貯蓄銀行条例に準拠して貯蓄部兼営を開始	貯蓄部を分離し、阿波貯蓄銀行として創業	(旧)本店新築落成	徳島銀行の営業権譲受	二木銀行を買収合併	阿波貯蓄銀行を吸収合併	預金1億円突破	資本金1億円に増資	外国為替業務取扱開始	阿波銀行に行名変更	東京支店開設	本店新築落成	資本金10億円に増資	預金1千億円突破	事務センター竣工	東京・大阪両証券取引所第2部上場	東京・大阪両証券取引所第1部上場	オンラインスタート	財団法人阿波銀福祉基金設立	総預金5千億円突破	研修所落成	海外コルレス業務開始	公共債の窓口販売業務取扱開始	ファームバンキング開始	総預金1兆円突破	財団法人徳島経済研究所設立	債券ディーリング業務開始	海外コルレス包括承認取得	資本金83億円に増資	国内コマースナル・ペーパーの取扱開始	第1回無担保転換社債発行	担保付社債信託法に基づく受託業務開始	徳島市指定金融機関となる



現本店

古来より阿波藍の生産地として栄えてきた徳島において、明治12年、藍の豪商久次米兵次郎により、全国で5番目の私立銀行として「久次米銀行」が設立されました。当行は、「久次米銀行」の関西部を継承して明治25年に設立された「合名会社阿波銀行」を前身銀行に、明治29年6月徳島市西船場町に「株式会社阿波商業銀行」として設立されました。以来、昭和3年に経営危機に陥った「徳島銀行」の営業権を譲受け、次いで昭和9年に「二木銀行」、昭和18年に「阿波貯蓄銀行」を吸収合併し、昭和39年に商号を「株式会社阿波銀行」と改称して現在に至っております。この間、明治・大正・昭和の幾多の金融危機にも耐え、伝統的な堅実経営のもと、ふるさととともに歩む地域の中核金融機関として確固たる基盤を築いてまいりました。

昭和18年8月合併

阿波銀行

昭和39年10月改称

平成

創業100周年

平成8年6月

120周年

平成28年6月



研修所

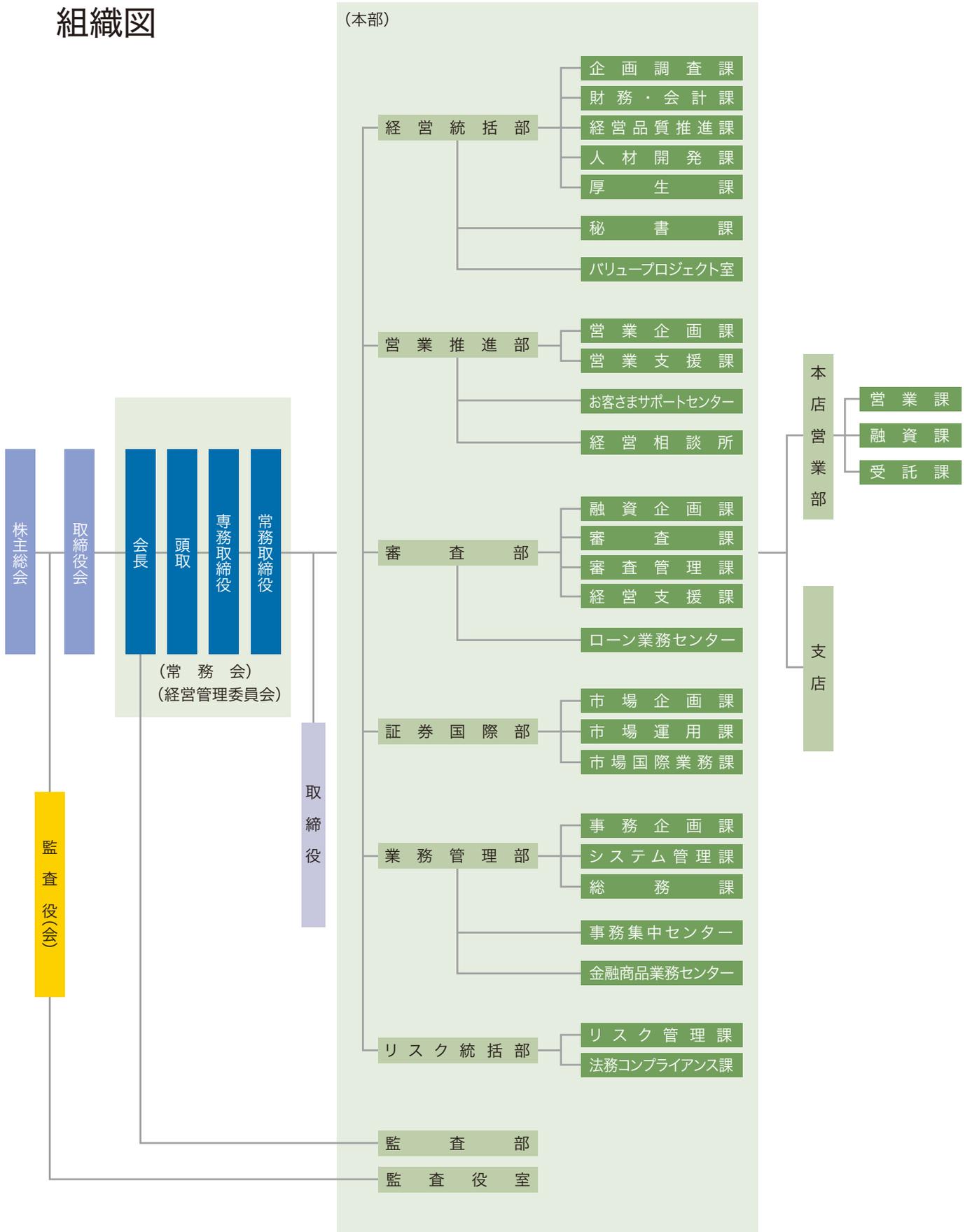


鴨島センター

平成元年10月	資本金152億円に増資
2年10月	サンデーバンキング開始
5年3月	新事務センター「鴨島センター」竣工
6年1月	信託業務取扱開始
7年1月	新総合オンラインシステム稼働
7年1月	財団法人阿波銀行学術・文化振興財団設立
8年2月	CD・ATMの祝日稼働開始
8年6月	創業100周年
9年2月	阿波銀行新町ビル竣工
9年4月	資本金234億円に増資
10年3月	県内店舗網200店達成
10年5月	総預金2兆円突破
10年12月	証券投資信託の窓口販売業務開始
12年11月	第1回無担保普通社債発行
13年4月	住宅ローンご利用者向け長期火災保険の窓口販売業務開始
14年6月	執行役員制度導入
14年10月	個人年金保険の窓口販売業務開始
16年1月	「じゅっだん会」共同版システム稼働
16年12月	証券仲介業務開始(平成19年9月から金融商品仲介業務)
19年12月	医療・がん保険の窓口販売業務開始
27年6月	創業119周年

当行の概況

組織図



役員一覧



写真は前列左から
後列左から
取締役会長 西宮 映二
常務取締役 平岡 悟
専務取締役 大西 康生
取締役頭取 岡田 好史
常務取締役 長岡 奨
常務取締役 福永 丈久

代表取締役

取締役会長 西宮 映二
取締役頭取 岡田 好史
専務取締役 大西 康生

取締役

常務取締役 長岡 奨
常務取締役 平岡 悟
常務取締役 福永 丈久
取締役専務執行役員
(本店営業部長) 待田 勝
取締役 鎌田 稔弘
(営業推進部長)
取締役 園木 宏
取締役 浅岡 建三

(注)取締役のうち園木宏および浅岡建三の2氏は、社外取締役です。

執行役員

常務執行役員 三好 敏之
(東京支店長)
執行役員 阿部 丘
(鳴門支店長兼大津支店長)
執行役員 矢部 誠一
(監査部長)
執行役員 大和 史郎
(審査部長)
執行役員 石本 宏
(大阪支店長)
執行役員 三浦 淳典
(阿南支店長兼見能林支店長)
執行役員 山下 真弘
(経営統括部長兼バリュープロジェクト室長)

監査役

常任監査役 海出 隆夫
常勤監査役 小松 康宏
監査役 西野 武明
監査役 田村 耕一
監査役 米林 彰

(注)監査役のうち西野武明、田村耕一および米林彰の3氏は、社外監査役です。

(平成27年6月30日現在)

主要な業務の内容

1.預金業務

(1)預金

当座預金、普通預金、無利息普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取扱っています。

(2)譲渡性預金

譲渡可能な預金を取扱っています。

2.貸出業務

(1)貸付

手形貸付、証書貸付および当座貸越を取扱っています。

(2)手形および電子記録債権の割引

銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形および電子記録債権の割引を取扱っています。

3.商品有価証券売買業務

国債等公共債の売買業務を行っています。

4.有価証券投資業務

預金の支払準備および資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しています。

5.内国為替業務

送金為替、当座振込および代金取立等を取扱っています。

6.外国為替業務

輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務を取扱っています。

7.社債の受託等

社債の受託業務等を行っています。

8.信託業務

公益信託

教育助成、国際研究協力、自然環境の保全等の公益を目的として設定する信託です。この信託は、金銭信託・有価証券の信託等の形態により受託しています。

9.附帯業務

(1)代理業務

- ①日本銀行代理店および日本銀行歳入代理店
- ②地方公共団体の公金取扱業務
- ③勤労者退職金共済機構等の代理店業務
- ④株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務
- ⑤日本政策金融公庫等の代理貸付業務
- ⑥信託代理店業務
- ⑦損害保険窓口販売業務
- ⑧生命保険窓口販売業務

(2)保護預りおよび貸金庫業務

(3)有価証券の貸付

(4)債務の保証(支払承諾)

(5)金の売買

(6)公共債の引受

(7)国債等公共債および投資信託の窓口販売

(8)金融商品仲介業務

(9)M&A仲介業務

(10)確定拠出年金運営管理業務

(11)リース仲介業務

(平成27年5月31日現在)



主要な商品・サービス

預金

商品名		しくみと特徴	
流動性預金	当座預金	会社や商店のお取引に安全で便利な小切手や手形をご利用いただくための預金です。	
	普通預金	給与・年金・配当金の自動受取り、公共料金・校納金の自動支払いなどにご利用いただけます。お引出しや残高照会にはキャッシュカードのご利用が便利です。	
	無利息普通預金(決済用預金)	全額預金保険で保護されます。「無利息」であること以外は従来の普通預金と同じです。新規口座のご開設のほか既存口座からのお切替えも可能です。	
	通知預金	まとまったお金の短期間のお預入れにご利用いただけます。	
	スーパー貯蓄預金	お預入れ金額に応じた金利が設定され、普通預金と同様にいつでもお引出しできる商品です。	
	あわぎん教育資金贈与専用口座 ふれ藍	祖父母等の贈与者が、子・孫等の受贈者へ教育資金を目的として贈与した資金を、受贈者ひとりあたり1,500万円(学校等以外へのお支払いについては500万円)までを、贈与税の非課税とすることができます。	
譲渡性預金(NCD)		5,000万円から短期間で運用でき、譲渡が可能です。	
定期預金	自由金利型定期預金	スーパー定期	おいくらからでもお預入れいただけます。個人のお客さまにはお利息を6カ月ごとに複利計算するお得な複利型もあります。
		スーパー定期300	300万円からの資金運用にご利用いただける商品です。個人のお客さまにはお利息を6カ月ごとに複利計算するお得な複利型もあります。
		大口定期	1,000万円以上のまとまった資金の運用にご利用いただける商品です。
	利息分割受取型定期預金		お預入れ期間中にお利息を分割してお受取りいただける定期預金です。定期預金の種類・期間に応じた利率を適用させていただきます。
	ニューしあわせ期日指定定期預金		お預入れ期間に応じ、1年ごとに複利計算する定期預金です。1年の据置期間後は何回でもご自由にお引出しでき便利です。(一部お引出しの場合1万円以上)
	変動金利定期預金		お預入れ期間中に適用される金利が、金利情勢に応じて6カ月ごとに変動する定期預金です。
	年金定期預金		年金お受取りまでの据置期間に応じて、まとまった資金を安全に運用しながら年金方式で受取っていただく商品です。
積立型預金	財形預金		お勤め先の財形制度を通じ、給料やボーナスからの天引きで、自動的にまとまった財産形成ができます。財形住宅預金・財形年金預金は、合わせて貯蓄残高550万円までお利息が非課税となります。
	積立式定期預金 たまるくん		毎月自動的にお客さまが指定された額の積立ができます。積立てた個々の定期預金を「おまとめ日」に自動的に合算します。
	定期積金		毎月自動的にお客さまが指定された額の積立ができます。毎月の積立額を一定とする〈定額式〉と、満期の目標額を決めて積立てる〈目標式〉の2タイプがあります。
複合型口座	総合口座		普通預金と定期預金に、定期預金などを担保とする当座貸越機能を組み込み、1冊の通帳に「貯める」「使う」「借りる」の3つの機能を備えた便利な商品です。
	新総合口座 三役くん		総合口座に貯蓄預金をセットし、普通・定期・貯蓄預金の3つの機能がひとつの通帳でご利用いただけます。また、普通預金・貯蓄預金が一枚で利用できる抗菌剤入りキャッシュカードをご用意しております。

(平成27年5月31日現在)

■主な個人向けローン等

ローン名		資金のお使いみちなど	ご融資額	ご融資期間
住宅 関 連 ロ ー ン	住宅ローン (固定・変動金利選択型) (変動金利型)	・住宅用の土地購入、住宅の建設・購入、 増改築資金および諸費用 ・他金融機関からの住宅資金借入の借換え	100万円～5,000万円	1年～40年
	あわぎん固定金利型総合住宅ローン (あわぎん35全期間固定)	・住宅用の土地購入、住宅の建設・購入、 増改築資金および諸費用 ・他金融機関からの住宅資金借入の借換え	100万円～1億円	1年～35年
	長期固定金利型住宅ローン (フラット35)	・住宅の建設、購入資金および付帯工事費用 ・住宅金融支援機構との提携商品	100万円～8,000万円	15年～35年
	無担保型住宅ローン	他金融機関からの住宅資金借入の借換え	100万円～1,000万円	1年～15年
	ソーラーローン	太陽光発電住宅設備、家庭用蓄電池の導入・工事、 および同時に実施するその他リフォーム資金	50万円～500万円	合算で500万円以内 15年以内
	住まいのリフォームローン	住宅の増改築のほか、住環境の整備改善 に必要なあらゆる資金	50万円～500万円	
リ フ ォ ー ム ロ ー ン	リフォームローン (耐震・防災110)	耐震化等の防災を中心とした 住宅の改修や増改築資金	50万円～1,000万円	15年以内
	住宅ローン長期火災保険	火災による損害だけでなく、台風等自然災害や日常生活における事故等、損害から住まいを守る保険です。		
お 使 い み ち 自 由 な ロ ー ン	あわぎんスマートネクスト	自由(事業性資金は除きます)	30万円～500万円(10万円単位)	3年(自動更新)
	パワーアップカードローン		10万円・30万円・50万円(3種類)	
	カードローンエース		50万円・100万円(2種類)	
	ワイドローン(フリープラン)		10万円～300万円	6カ月～7年
	フリーローン(自由自在)		10万円～300万円	6カ月～7年
	住宅サポートローン		10万円～500万円	6カ月～20年 (300万円以下は15年以内)
防 災 金	資産活用ローン	50万円～5,000万円(10万円単位)	1年～30年	
	防災ローン(防災万全110)	防災および災害復旧に必要な資金	30万円～300万円	6カ月～5年
車 関 係 ロ ー ン	ワイドローン(マイカープラン)	マイカーの購入・維持にかかる費用および 免許取得費用	10万円～500万円	6カ月～10年
教 育 関 連 ロ ー ン	ワイドローン(教育プラン) (阿波銀保証保証型)・ (ジャックス保証型)	高校以上の学校に納付する学費および 下宿代等の生活費を含む学資資金	30万円～500万円	6カ月～10年
	教育ローン (日本政策金融公庫)	高校以上の学校の入学・進学に関して 必要な学校納付金・受験費用・教科書代・ 入在学のための住居費用など	学生・生徒おひとりにつき350万円以内	15年以内 (交通遺児家庭または 母子家庭の方については 18年以内)

(ご注意) ご融資対象に限られる場合や一定の基準を満たす必要がある場合があります。また、年収やこれまでの借入金合計によって、ご融資金額が制限される場合があります。お使いみちは社会的に妥当と認められるものに限ります。

(平成27年5月31日現在)

■主な事業者向けローン等

ローン名	資金のお使いみち	ご融資額	ご融資期間
あわぎん産業ローン	事業に必要な設備資金・長期運転資金に最適な長期・大型ローンです。	2億円以内	設備資金20年以内 運転資金10年以内
あわぎん産業ローン (セーフティ)	セーフティネット保証制度の5号認定を市町村から受けた中小企業および個人事業主を対象とした信用保証協会付ローンです。	2億円以内	設備資金20年以内 運転資金10年以内
あわぎんクイックローン	ご契約後は、簡単な手続きで即日お借入れできる事業性の大型極度付ローンです。	1億円以内	1年ごとに契約更新
あわぎん事業者 カードローン	事業性の当座貸越型ローンです。キャッシュカードにより、休日もCD・ATMからお借入れできます。	2,000万円以内	2年ごとに契約更新
あわぎん中小企業 応援ファンド	中長期の事業資金に適したローンです。当行の既存借入金のおまとめも可能です。	事業に必要な 資金の範囲内	設備資金20年以内 運転資金10年以内
あわぎん成長基盤 強化ファンド	今後の成長が見込まれる分野に取組むための中長期資金としてご利用いただけます。他行借入金のお借換えも可能なローンです。	1件あたり 1,000万円以上	設備資金1年以上20年以内 運転資金1年以上10年以内
あわぎん太陽光発電ローン	太陽光発電設備導入により、温室効果ガス排出削減に積極的に取組む事業者を対象としたローンです。	事業に必要な 資金の範囲内	設備資金17年以内
あわぎん企業育成ファンド (グローイングアップ)	創業資金および新たな事業展開・6次産業化支援ならびに経営改善に資する資金など地域経済の活性化につながる資金としてご利用いただけるローンです。	3,000万円以内	設備資金20年以内(据置期間3年以内) 運転資金10年以内(据置期間3年以内)
とくしま産業貢献ローン	徳島県が推進する支援事業の認定企業または助成金交付企業を対象としたローンです。	3,000万円以内	設備資金15年以内 運転資金7年以内
あわぎん売掛債権担保 ローン(バリューアップ)	外部評価機関システムで評価した売掛債権を担保とした事業性の極度付ローンです。	1,000万円以上 (融資可能額の範囲内)	1年ごとに契約更新
事業資金のご融資	このほかにも当行では、運転資金および設備資金などの企業経営に必要な事業資金のご融資や、徳島県および市町村の各種制度融資、日本政策金融公庫など政府系金融機関の代理貸付、信用保証協会保証によるご融資、棚卸資産などの流動資産を担保とするご融資なども取扱いしております。		

(平成27年5月31日現在)

■国際業務

項目	内容
貿易取引	輸出関係 輸出手形の買取・取立、小切手の買取・取立など輸出取引全般を取扱っています。
	輸入関係 輸入信用状の発行、輸入代金の決済など輸入取引全般を取扱っています。
外国送金	電信送金(T.T.) 先方の銀行へ電信で連絡し、お受取人に送金いたします。
	送金小切手(D.D.) 外貨建の銀行小切手をお作りし、お客さまから海外のお受取人へ直接送付していただく方法です。
両替	外国通貨(CASH) 日本円を米ドルなど外国通貨に交換いたします。また、外貨宅配サービスもご利用いただけます。
外貨預金	米ドル、ユーロなどの外貨建預金を取扱っています。種類は普通預金・積立預金・定期預金があります。
インパクトローン	米ドル、ユーロなどの外貨によるご融資です。利率は融資の時期・期間・通貨の種類などによって異なります。先物為替予約により円ベースの利回りを確定することもできます。
スタンドバイ L/C	お客さまの海外子会社の海外提携金融機関からの融資に対し保証します。海外進出時の資金調達にご利用ください。
海外進出サポート	海外現地法人設立、海外投資、海外企業の調査等をサポートします。また、海外現地法人設立後の貿易業務、現地通貨建ての資金調達についてもお気軽にご相談ください。

(平成27年5月31日現在)

■証券業務等

業務名	しくみと特徴
国債の募集および販売	国債の募集および販売業務を行っています。 ●個人向け国債/期間は3・5・10年で、半年ごとにお利息が支払われます(3・5年については固定金利、10年については変動金利)。1年経過すれば中途換金できますが、直近2回分の利息相当額をお支払いいただくことになります。 ●新型窓販国債/期間は2・5・10年で、半年ごとに決まったお利息(固定金利)が支払われます。
国内コマーシャル・ペーパーの引受等	短期の資金調達手段の多様化にお応えるため、コマーシャル・ペーパー(国内CP)の引受および売買を行っています。
私募の取扱い	社債のうち私募債のあっせん業務を行っています。
社債の受託業務等	長期で安定的な資金調達手段の多様化にお応えるため、社債の受託業務等を行っています。

(注)国債の口座管理手数料は、平成15年4月から無料となっています。

(平成27年5月31日現在)

■投資信託

業務名	しくみと特徴
投資信託の窓口販売	たくさんの投資家から集めた資金を一つにまとめ、運用のプロである投資信託委託会社が国内外の公社債や株式等で運用し、得られた収益を出資の割合に応じて投資家に分配するものです。当行では多くの商品(注)を取扱っています。また、毎月一定金額を預金口座から自動振替により購入できる「あわぎん投信積立サービス」も取扱っています。少額投資非課税制度(NISA)の対象商品です。

(注)パンフレットおよび目論見書を店頭窓口にて備え置いています。また、当行ホームページでもご覧いただけます。

(平成27年5月31日現在)

■生命保険窓口販売業務

取扱商品		しくみと特徴
個人年金保険	定額年金保険	契約時に将来受取る年金額が決まっている保険です。外貨建ての場合は、為替相場の変動により円貨での受取額が増減します。
	変額年金保険	払込保険料の運用実績によって、将来受取る年金額が増減する保険です。運用実績に関わらず、運用期間満了時の年金原資や年金受取総額が保証される商品も取揃えています。
終身保険		万一に備えて死亡保障が一生続く保険です。また、「大切なご家族に資産を残したい」といった相続ニーズにもご利用いただけます。
定期保険		一定の保険期間内にお亡くなりになった場合、死亡保険金を受取れる保険です。
収入保障保健		一定の保険期間中に死亡または高度障害になった場合に、年金形式で毎月給付金を受取れる保険です。一時金で受取ることも可能です。
医療保険・がん保険		病気やケガ、がんで入院したり、所定の手術を受けた場合に給付金を受取れる保険です。
学資保険		お子さまの高校や大学の進学時期に合わせて、給付金を受取れる保険です。

(平成27年5月31日現在)

■金融商品仲介の取扱い

業務名	しくみと特徴
金融商品仲介	お客さまの幅広い資産運用ニーズにお応えするため、株式や債券等の取引を提携先である野村證券または大和証券に仲介します。お客さまには金融商品仲介用の口座を開設していただきます。また、口座開設後は証券会社のコールセンター、インターネットでもお取引いただけます。

(平成27年5月31日現在)

■金の取扱い

業務名	しくみと特徴
金地金の販売	金地金の販売を行っています。金地金を直接お渡しする方法と、保護預りする方法があります。

(平成27年5月31日現在)

■信託業務

業務名	しくみと特徴
公益信託	学術・文化・福祉・環境保護などの公益目的のために、法人や個人の篤志家が財産を信託し、当行がお客さまに代わって目的に沿った助成事業を行う社会貢献型の信託です。一定の要件を満たす公益信託への拠出金については、税制上の優遇措置が受けられます。
特定贈与信託	特定障がい者の方の生活の安定を図ることを目的とし、ご親族の方々などが財産を信託銀行に信託するもので、信託銀行が管理・運用を行い、特定障がい者の方に生活費や医療費として定期的に金銭を交付する信託です。信託財産6,000万円(特別障がい者以外の特定障がい者の方の場合は3,000万円)までは贈与税が非課税となります。
年金信託	厚生年金基金・確定給付企業年金の各制度は、将来の年金・退職一時金の支払原資を事前に積立てる制度であり、資金負担の平準化が図られるとともに、拠出された資金は社外に確保され、税制上の優遇措置も受けられます。
土地信託	「土地を手放さずに有効に利用したい」という土地所有者に代わって、信託銀行が土地の有効利用に関する事業計画の立案と事業運営を行い、土地所有者に運用成果を配当する信託です。
特定金銭信託(特定金外信託)	機関投資家が信託銀行に金銭を信託し、信託銀行は投資家の指図に基づいて、有価証券への投資を行います。お手持ちの有価証券と区別した経理処理(簿価分離)が可能のため、投資効果の把握が容易になります。
金銭債権の信託	金銭債権を信託財産として受入れ、その債権の管理・処分等を目的とする信託です。委託者である企業等は、信託銀行等を通じて信託受益権を投資家に譲渡することにより、資金の早期回収およびスキームによっては資産のオフバランス化を図ることができます。
遺言信託	遺言書についての相談、遺言書の作成、遺言書の保管および管理を行い、相続発生時には遺言の執行手続きなどを行います。
遺産整理業務	相続開始後、相続人全員からの委託を受け、相続人の代理人として相続手続きを行います。
証券代行業務	株式の発行会社に代わって、株式事務(株主名簿の管理、株式の名義書換、株主総会招集通知の発送、配当金計算、その他株式に関する事務)を行う業務です。
国民年金基金勸奨業務	自営業者等(国民年金第1号被保険者)の方々の「老後の備え」を支援する商品として国民年金基金加入のご提案を行います。

■公益信託の受託状況

信託目的	基金名称
国際協力・国際交流促進	公益信託 三木武夫国際育英基金

◎信託業務サービスのご案内

- ◇公益信託は全店(除く出張所)で取扱っています。
- ◇特定贈与信託・年金信託・土地信託・特定金銭信託(特定金外信託)・金銭債権の信託・遺言信託・遺産整理業務・証券代行業務・国民年金基金勸奨業務は、当行が契約している信託銀行の代理店として下記の店舗で取扱っています。

業務名	取扱店
特定贈与信託・年金信託・土地信託・特定金銭信託(特定金外信託)	本店営業部、鳴門支店、小松島支店、阿南支店、鴨島支店、池田支店、高松支店、高知支店、大阪支店(9店舗)
遺言信託	本店営業部、鳴門支店、小松島支店、阿南支店、鴨島支店、池田支店、大阪支店(7店舗)
金銭債権の信託・証券代行業務	本店営業部、大阪支店(2店舗)
国民年金基金勸奨業務	店舗内店舗、横浜法人営業部を除く全店(91店舗)

- ◇遺言信託、遺産整理業務は、(株)山田エスクロー信託をご紹介するサービスを全店(除く出張所)で取扱っています。

(平成27年5月31日現在)

■ ai-mo(あわぎんインターネット・モバイル banking)

ai-mo(個人向け)サービス概要

サービスメニュー	ご利用可能端末			ご利用可能時間 ^(※1)				
	パソコン タブレット	スマートフォン	携帯電話	平日(月～金)	土・日・祝日			
照会	残高照会	●	●	●	0:00～24:00	8:00～21:00		
	入出金明細照会	●	●	●				
振込・振替	即時	振替 当行宛	●	●	●	8:00～21:00	9:00～19:00	
		振込 当行宛	●	●	●	8:00～21:00 (当座預金宛は 8:00～15:00)	—	
		振込 他行宛	●	●	●	8:00～15:00	—	
	予約	振替 当行宛	●	●	●			
		振込 当行宛	●	●	●			
		振込 他行宛	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00	
		予約取消	●	●	●			
	結果照会	●	●	●				
定期預金 貯形預金	定期預金	預入	●	●	●			
		引出	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00	
	一般貯形預金	引出	●	●	●			
	明細照会・金利照会等	●	●	●				
外貨預金	外貨普通預金	預入・引出・振替	●	●	—			
		外貨積立預金	●	●	—			
	外貨定期預金	預入・引出	●	●	—			
	口座開設	・外貨普通預金 ・外貨積立預金 ・外貨定期預金	受付	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00
			明細照会・金利照会等	●	●	—		
				●	●	—		
	投資信託	購入 ^(※2)	●	●	—			
解約・買取		●	●	—	0:00～24:00	0:00～24:00		
残高照会・明細照会等		●	●	—				
投資積立	新規申込	●	●	—				
	契約内容変更・中止	●	●	—	0:00～24:00	0:00～24:00		
	残高照会・明細照会等	●	●	—				
ai-mo通帳	切替申込	●	—	—	0:00～6:00・8:00～24:00			
	入出金明細照会	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00		
	電子交付サービス(申込・閲覧)	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00		
	住所変更受付	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00		
	預金口座振替受付	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00		
ローン	借入内容照会	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00		
	一部繰上返済	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00		
	メッセージ・電子メール通知	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00		
料金払込	税金・各種料金の払込み ^(※3)	●	●	●	8:00～21:00	8:00～21:00		
	結果照会	●	●	●	0:00～24:00	0:00～24:00		
	ご利用口座追加受付	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00		
	振込・払込限度額の引下げ・照会	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00		
	メンテナンス機能	●	—	—	0:00～24:00	0:00～24:00		

ai-mo(法人向け)サービス概要

サービスメニュー	平日(月～金)		土・日・祝日			
	ご利用可能時間 ^(※1)	承認時限	ご利用可能時間 ^(※1)	承認時限		
照会	残高照会	8:00～21:00	—	8:00～21:00	—	
	入出金明細	8:00～21:00	—	8:00～21:00	—	
振込・振替	即時	振替	8:00～21:00 (当座預金の 入出金は 15:00まで)	8:00～21:00	—	
		振込	8:00～21:00 (当座預金に係るお振込は 15:00まで)	8:00～21:00	—	
	予約	振替	0:00～24:00	0:00～24:00	0:00～24:00	—
		振込	0:00～24:00	0:00～24:00	0:00～24:00	—
一括伝送	即時	当行宛	8:00～21:00 (当座預金に係るお振込は 15:00まで)	—	—	
		他行宛	8:00～15:00	—	—	
	予約	当行宛	0:00～24:00	0:00～24:00	0:00～24:00	—
		他行宛	0:00～24:00	0:00～24:00	0:00～24:00	—
	でんさい ^(※4)	7:00～24:00	7:00～24:00	7:00～24:00	—	
一括伝送	総合振込	振込指定日の 前営業日 16:00まで	—	—	—	
	給与振込	振込指定日の 前営業日 16:00まで	—	—	—	
	地方税納入	納付日の 4営業日前 16:00まで	—	—	—	
	自動集金	振替指定日の 2営業日前 16:00まで	0:00～24:00	0:00～24:00	—	
	ワイドネット回収	[一般回収型] 振替指定日の 8営業日前 16:00まで [クイック回収型] 振替指定日の 7営業日前 16:00まで	—	—	—	
	料金払込 ^(※3)	8:00～21:00	—	8:00～21:00	—	
	振込・払込限度額引下げ・照会	0:00～24:00	—	0:00～24:00	—	
	メッセージ・電子メール通知	0:00～24:00	—	0:00～24:00	—	

※1.保守点検のため、毎週日曜日午前0時～午前6時の時間帯はサービスを停止させていただきます。
(定期休止時間帯)
※2.システムメンテナンスのため、毎日午前3時～午前6時の時間帯は購入を休止させていただきます。
※3.収納機関の取扱休止等により、上記時間帯であってもサービスがご利用いただけない場合があります。
※4.毎月第2土曜日および12/31～1/3、5/3～5/5はご利用いただけません。

あわぎん外為Webサービス概要

サービス内容	○外国送金受付サービス ○輸入信用状受付サービス
ご利用いただける方	法人または個人事業主のお客さま
ご利用可能時間	平日 8:00～21:00 (土・日・祝日・12/31～1/3を除きます)
データ送信時限	指定希望日の前営業日16:00まで ※受付は指定日の1ヵ月前の翌営業日から可能です。
支払指定口座	普通預金・当座預金・外貨普通預金
お取扱い通貨	○外国送金受付サービス:30通貨 米ドル、日本円、ユーロ、英ポンド、カナダドル、オーストラリアドル、スイスフラン、ニュージーランドドル、デンマーククローネ、ノルウェークローネ、香港ドル、スウェーデンクローネ、シンガポールドル、タイバーツ、人民元、UAEディルハム、インドルピー、インドネシアルピア、カタールリアル、韓国ウォン、クウェートディナール、サウジアラビアリアル、台湾ドル、パキスタンルピー、フィリピンペソ、ポーランドズロチ、マレーシアリンギット、南アフリカランド、メキシコペソ、ロシアルーブル ○輸入信用状受付サービス:4通貨 米ドル、日本円、ユーロ、人民元

(注)1.ご契約者と送金人・ご依頼人が同一でない場合はお取扱いできません。
2.取組指定日での外国送金の対外発電や輸入信用状の発行・変更を確約するものではありません。
3.輸入信用状受付サービスは、審査の結果によりご希望に添えない場合がございますのであらかじめご了承ください。

(平成27年5月31日現在)

手数料一覧 手数料には消費税等が含まれています。

振込手数料

(1件につき)

サービス内容		お振込金額	当行宛	他行宛
窓口ご利用	電信	3万円未満	324円	648円
		3万円以上	540円	864円
ATMご利用	カード・通帳 振替振込	3万円未満	108円	324円
		3万円以上	216円	432円
	紙幣・硬貨 現金振込	3万円未満	162円	486円
		3万円以上	378円	648円
データ伝送		3万円未満	108円	432円
		3万円以上	324円	648円

取立手数料

(1件につき)

サービス内容	同一手形交換所内	その他の支払場所	
		当行本店宛	他行宛
代金取立	432円	432円	648円
入金小切手等取立	216円	432円	432円

(注)支払場所となっている店舗で直接口座に入金される小切手等につきましては無料となります。

預金・融資取引関係手数料

サービス内容	手数料
手形帳発行	1冊につき 1,080円
小切手帳発行	1冊につき 864円
CD・ATM時間外利用	当行カード 1回につき 108円
	他行カード 216円
通帳・証書・CDカード再発行	1件につき 1,080円
融資条件変更	1件につき 10,800円
不動産担保取扱	— お取扱いの条件に応じて 32,400～54,000円
住宅ローン繰上返済	— ご返済の条件に応じて 無料～43,200円
預貸金残高証明書発行	預金・貸出金それぞれ1通につき 324～ 3,240円

(注)預貸金残高証明書発行は、監査法人さまからのご依頼につきまちは、1依頼書ごとに手数料をいただきます。

保管関係手数料

サービス内容	手数料
夜間金庫	基本料金年間77,760円、専用カバン(6個以上1個につき)年間12,960円。専用入金帳発行料6,480円
貸金庫全自動	一般 容量に応じて年間 6,480～21,600円
	全自動 容量に応じて年間 12,960～25,920円
	簡易 容量に応じて年間 6,480～12,960円
保護預り	封緘預り 年間3,240円
	開封預り 年間3,240円+券面額1,188/1,000

インターネットバンキング手数料

サービス名	契約料	基本料金/月額
個人向けインターネット・モバイルバンキング	無料	無料

(注)1.個人のお客さまのみに限定させていただきます。
2.ご利用されるサービスにより、別途振込手数料等の所定の手数料が必要となります。

サービス名	契約料	基本料金/月額
法人インターネットバンキング	スタンダード型	無料
	エクストラ型	無料

(注)ご利用されるサービスにより、別途振込手数料等の所定の手数料が必要となります。

でんさい手数料

		手数料		備考
		ai-mo [※]	窓口	
記録請求等手数料	発生記録	当行宛	216円	債権者の決済口座が当行の場合 債権者の決済口座が他行の場合 譲受人の決済口座が当行の場合 譲受人の決済口座が他行の場合
		他行宛	432円	
	譲渡記録	当行宛	216円	
		他行宛	432円	
分割譲渡記録	他行宛	432円	1,188円	
決済手数料			216円	216円

(注)1.通常のお取引に係る手数料のみ掲載しております。
2.「ai-mo」とはあわぎんインターネットバンキングの愛称です。なお、でんさいは「ai-mo(法人向け)」のみご利用可能です。

サービス名	契約料	基本料金/月額	
あわぎん外為webサービス	外国送金受付サービス	無料	2,160円
	輸入信用状受付サービス	無料	2,160円

(注)上記以外にも外国送金や輸入信用状発行・条件変更のお取引ごとに当行所定の手数料が必要となります。

その他の手数料

サービス名	内容	手数料
店頭両替	両替枚数 100枚以内	無料
	両替枚数 101～500枚	216円
	両替枚数 501～1,000枚	432円
	両替枚数 1,001枚以上500枚ごと	216円加算
個人情報開示	お客さまご本人にかかる情報の開示	1,080円
	取引残高(科目、口座番号、残高)	1,080円
	取引明細(期間1年以内)	1,620円
	(追加1年分ごとに)	540円
	その他の開示	2,160円

(平成27年5月31日現在)

